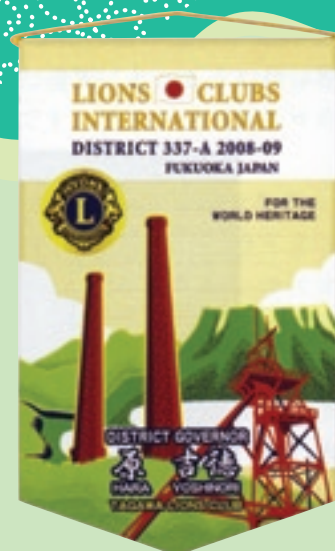


Lions Clubs International District 337-A JAPAN

THE LIONS TIMES

2009 Vol.168

ザラタ



「私は事に当りて “ 損得よりも善悪を優先して ” 物事を決断してきた」

* 2008-2009 337-A 地区 地区ガバナー L. 原 吉徳 *



田川文化センター

ライオンズクラブ国際協会
337-A 地区

第55回

期日▶2009年(平成21年)4月19日(日)

会場▶田川文化センター

目 次

337-A 地区 PR・IT・ザラタ編集委員会企画
座談会『ライオンズにかける夢』…………… 10
(新旧キャビネット四人に聞く)

レポート1
「地区第2回新会員研修会」…………… 32
報告者 2R・PR・IT・ザラタ編集委員 L. 徳永修一郎

レポート2
「今年度(2008～2009)を
振り返って」…………… 34



ガバナー入場



登録受付風景



年次大会



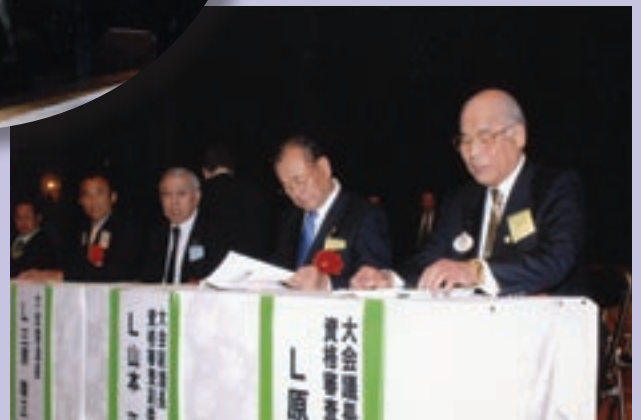
司会進行
キャビネット幹事 L. 小金丸滋勝



議長を務める地区ガバナー L. 原吉徳



原ガバナーより特別表彰された L. 井手千樹 (福岡天神 LC)



ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区



麻生福岡県知事・伊藤田川市長



355-G 地区 金総裁と朴前総裁



レオクラブのメンバーと盲導犬



第55回年次大会

ライオンズクラブ国際協会 355-G 地区 歓迎前夜祭

■のがみプレジデントホテル 2009 年4月 18 日



ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区 第 55 回年次大会 後夜祭

■ラ・ファミユ・ワクジュ 2009 年 4 月 19 日



ライオンズクラブ国際協会 355-G 地区 年次大会









座談会『ライオンズにかけの夢』 (新旧キャビネット四人に聞く)

2009年5月19日(火) 於) 飯塚市 のがみプレジデントホテル

【対談者】

(2008-2009) 原吉徳ガバナー／小金丸滋勝キャビネット幹事

(2009-2010) 山本正廣ガバナーエレクト／古賀豊美次期キャビネット幹事



「新旧キャビネット四者会談」全景

愛「人類愛・郷土愛・家族愛」を提言に掲げた原吉徳ガバナー。片や「創意・工夫・協調」を提言に掲げて地区の運営に挑む山本正廣ガバナーエレクト。世界中に「変革」の必要性が叫ばれて、また国内での会員減少が続く中で、地区約五千人の代表として、何を考え、我々をどう導こうとされるのか。そのライオンズに関わることになった経緯も含め、新旧の指導者の方々の『今後のライオンズの方向性』を知りたくて今回の対談をお願いした。

＝メインインタビューは地区 PR・IT・ザラタ編集委員長 L. 矢野誠 (嘉穂 LC)

矢野 今回はザラタ第168号の目玉として「新旧キャビネット四者会談」を企画させていただきました。皆さんお忙しい中ご協力いただきましてありがとうございます。会談の趣旨は、会員の皆さんが少しでも興味を持ってザラタを読んでいただきたいというところにあります。本日は特に様々な設問をご用意いたしておりますので、どなた様も忌憚のないご意見をお願いいたします。

最初に原ガバナーにお尋ねしますが、去る4月19日(日)に举行されました年次大会が終わって、丁度一ヶ月が経過しましたが、今の正直なお気持ちをお聞かせください。

原 地区の会員の皆様方に変なご理解を頂いて、手ごたえを感じた一年間であったと思います。

矢野 例年、年次大会が終わると一段落されると思うのですが、小金丸幹事は如何ですか。

小金丸 今期の年次大会のコンセプト“「獅子の本質」愛そして感動”という原ガバナーの意思が皆さんに通じた大会だったと思います。また大会が無事に成功裡に終わったということで幹事としての役割を果たせたのか

なと思っています。正直ホッといたしております。



年次大会代議員総会段上全景

LCに入会したきっかけを教えてください

矢野 それは大変お疲れ様でした。それでは本題に入り

ますが、皆さんにお聞きします。LCに入会したきっかけとスポンサーをお尋ねしたいのですが、原ガバナーからお願いします。

原 私のスポンサーはご近所にお住まいだったL.石川章です。L.石川からはJ・C（青年会議所）と卒業と同時にライオンズを勧められていて再三お断りしていたのですが、とうとう観念して入会したわけです。L.石川は文具の卸販売を生業としてあって、地域でもとても人望の厚い方で、田川商工会議所の副会頭も歴任された人物です。当時のL.石川はライオンズにとっても熱心な方でしたね。

山本 私の場合も原ガバナーに似ているのですが、自宅から50M程先のご近所の方で、大川LCの会長をなさったL.細川登です。やはり何度も入会を勧められまして、また（自宅の）お隣の方がロータリークラブの元会長だったということで、同時にそちらからもお誘いいただいたのですが、L.細川が洋服屋さんで、「無料で一着プレゼントするから入会してくれ」というわけで、とうとう入会しました（笑）結局洋服はいただきませんでしたかね（笑）まあその…熱意にほだされましたね。

小金丸 私のスポンサーは皆さんよくご存じの澁田繁晴名誉顧問です。入会のきっかけは、私の名前が私の知らないところでロータリークラブの推薦名簿に挙がってしまっていて、「入会承認も理事会を通った」といわれていたのですが、私の親父が熱心なライオンだったものですから、ある日親父がロータリーのメンバーとゴルフをしていた時に、その方から「息子さん。ロータリーに入会するみたいですね」といわれたみたいで、親父は血相変えて自宅に戻ると、私に「お前、何考えてんだ!!」ということになって…私は「心配ないよ」と否定してたのですが、それでも心配になった親父が画策しまして、私の後輩をライオンズに入会させようとしたんですね。そうになってしまうとライオンズでは、後輩が私の先輩になるわけで、慌てて入会したわけです。実の父親の策略ですね（笑）ちょうど飯塚LCのL.小松弘義がガバナーに就任された時だったので、当初スポンサーをお願いする予定だったのですが、ガバナーは一年任期なので、これからのリーダーとして声望があったL.澁田繁晴を名指しで指名させていただいて、スポンサーになっていただきました。私の入会の動機は不純ですね（笑）

矢野 以後（澁田名誉顧問とは）親密な仲がこれをご縁に続いているわけですね。澁田ガバナーの時の副幹事ですもんね、小金丸さんは。

小金丸 そうですね。

古賀 私のスポンサーはL.吉原寛でドクターでした。掛かりつけのお医者様だったわけです。私がJ・Cを卒業する直前にL.吉原に「ライオンズの入会式に來い」ということで、吃驚しました。「クラブの承認は取り付けてあるから、早く挨拶しろ」みたいにいわれ、訳がわからず…当時私を含めてJ・Cからの4人が大川LCに



右端、矢野地区 PR・IT・ザラタ編集委員長

入会しました。当時は夫婦同伴の入会式だったので、嫌がる妻を無理やり連れて行きました。後にL.吉原は大川中央LCをエクステンションして創立会長を務められました方ですね。

原 昔は夫婦同伴の入会式は多かったよね。

山本 昔はライオネスクラブが盛んでしたから。

小金丸 昔は何かあると奥さん方もクラブの事業に参加していましたよね。

山本 私達のクラブ（大川LC）は今もそうですよ。

矢野 そのように、会員の奥さんがライオンズに理解を示してくれたら、皆さん出席しやすいですよ。実は私の妻は、私がライオンズに行くと嫌うんですよ（笑）

古賀 私の妻はライオネスの会長を務めさせていただいた関係で、ライオンズには理解がありますので、その辺りは楽ですね。

LCに入会して良かったと思う事は？多くの仲間との出会い!!

矢野 続きまして皆さんにお聞きしますが、LCに入会して良かったと思う事は何でしょうか？一言でまとめていただきたいのですが。

原 はい。それは一にも二にも素晴らしい先輩との出会いがあったことです。これが全てでしょうね。もちろん私は「我が身以外は皆これ師なり」と思っていますが、一方反面教師もおられましたので、それはそれで結構いいお付き合いさせていただきました。

山本 私は先輩も後輩も含めて多くの仲間と出会った事が財産じゃないかと思います。

小金丸 私も業界や年齢差を超えて沢山の方とお知り合いになれる。今ここに集われている皆さんにしても仕事や通常の生活の中では絶対に出会えなかったと思います。やはり今回のように親しくお話を聞かせていただき、考え方だとか、その人となり勉強になることが多いです。これが一番良かったことだと思います。

矢野 そりゃ、普通じゃ巡り合えませんか（笑）

古賀 私は様々なご縁により、先輩ライオンから教えられる事が多かったですし、それを後輩ライオンに教えることで友情が育まれたと思っています。昔は大川 LC も 100 名程会員がおりましたから、その方々との情報交換が、年の差に関係なく気軽に出来たことが有意義でした。

新旧ガバナー誕生秘話！? その決断の時とは？

矢野 お二方にお聞きしますが、結果的にガバナー（又はエレクト）に就任されたきっかけとは何だったのでしょうか？

原 これは（笑）なりてがなくて災難に遭ったという感じで…本当にそうです（笑）ガバナーになりたいなんて気持ちは全然ありませんでしたから。交通事故に遭ったか、がけ崩れの下敷きになった実感で、皆さん私に美辞麗句並べていただく方もいらっしゃいますけど、全くそんな意識なんてありませんでしたから、本当に申し訳なく思っております。小金丸幹事曰く、「行きあたり場あたりの最たる男」との評価をいただいております、その日暮しなんです（笑）

矢野 リジョン内のローテーションもあるのですか？

原 そうですね。私は澁田ガバナーの時のキャビネット幹事をさせていただいていたので、リジョン顧問会のメンバーなのですが、(3R) リジョン顧問会が（役員の）割り振りを決めるわけですが、私はその席で「ガバナーは地区の顔になるんだから、3R によしんば順番が回って来ても、それをゾーンのローテーションなんかで回すんじゃないくて、相応しい人を顧問会で選ばなきゃいけない」と主張していたわけです。

矢野 ガバナーに就任されて最初に何をしようと思われましたか？



山本副地区ガバナー・エレクト



年次大会に於ける、原議長（ガバナー）



古賀次期キャビネット幹事

原 地区 5,000 名の会員のキャビネットをお預かりするわけですから、公私混同しないように資金運用面も含めて公の組織を預かるんだという意識が強くありましたね。今期のキャビネットは「皆さんのお役に立ってなんぼのもんだ」というスタンスでしたから、皆さんの最終的な評価が「よく頑張ったな」というものをいただければ、それで充分じゃないだろうかという考えでした。

率直に私がガバナーを務めさせていただいて、経済面も含めて全くメリットはありませんでした（笑）ただタバコ屋ですから、小金丸幹事が一年間協力的にタバコを吸ってくれたくらいですかね（笑）

矢野 山本ガバナーエレクトは如何ですか？

山本 私もガバナーになろうなんて夢にも思っていませんでしたが、RC の任期中より周りの方から、ちやほや



田川市で開催された「第 55 回地区年次大会」での参加者による「ライオンズ・ローア」

されたりケシカケラレタリで、困ってしまっていて悩んでいました。このままだとまずいなあと思い、まずは妻に相談してみようと思いました。妻は怖いですから（笑）そうしたところ、妻は返事もしない、クラブはクラブで一丸となって勝手に盛り上がってしまっていて…正月休みに妻をイタリアに連れて行き、現地で説き伏せようと思いましたが、とうとう帰って来るまで言えなくて（笑）言ってしまうと旅行が台無しになりそうだったものですから、妻は3、4ヵ月は怒っていましたね。それを見かねたクラブの仲間達が入れ替わり立ち替わり妻の説得に



原吉徳ガバナー



小金丸滋勝キャビネット幹事

当たってくれたわけです。そんな訳で私もガバナー立候補を考え直そうと思い、他にも相応しい方がいることでしょし…応援してくれた皆さんにはお断りする気持ちでした。しかし私は意志が弱いものですから、ずるずるとハッキリ返事をしないまま進んでしまっていて、皆さんご存じの通りの選挙で第一副地区ガバナーに選任されました。

前評判は圧倒的に優勢という風にいわれてましたが（笑）ふたを開けると圧倒的に劣勢で、それでまたお尻に火がついたみたいになって燃え上がってしまっていて、結局年次大会で皆さんを巻き込んでご迷惑をおかけしました。

選挙の後日に「福岡県のライオンズのトップを決めるのに、まあまあで一部の方々の指先で事を決するのはおかしいんじゃないか。やはりある程度、手が届く位の皆

さんのご意見を聞きながら、正々堂々と選挙で決めるのが本当じゃないか」と、若いライオンの方々からいわれました。そういう応援してくださる皆さんの声と、古賀幹事のような素晴らしいスタッフが支えてくれるという実感もあって、不安もありますが決意を新たに出発しようと思っています。

（原ガバナー） 「私、ボヤーとしてました」

矢野 原キャビネットの、今期これをやったぞと強く思われることは何でしょうか？

原 一年間の集大成として、心のこもった年次大会が想像以上にキチンと出来上がったことが最大の喜びでした。提言も心のこもった“愛”ですし、田舎で開催した年次大会でしたから条件も悪かったのですが、ホストである3リジョン19クラブの皆さんにお力添えをいただいて見事に出来上がったことに手ごたえを感じているんです。

それと同時に地域に密着した人道的なアクティビティとして、ライオンズの献眼推進をフォローする意味で、マイクロケラトロン（眼球をそのままに角膜だけを短時間で摘出できる医療機器）を導入して献眼が一層推進出来る体制を整えたことが…LCIF（ライオンズクラブ国際財団）の資金から（購入資金の一部を）拠出していただいたことでも、いろんな意味で手ごたえを感じております。

矢野 ご苦労なされたことは何かありますか？

原 苦労したことは、専ら幹事のご苦労があったと思いますので（笑）小金丸幹事に聞いてください。私はボヤーとしてましたから（笑）

嬉しかったことは、地区を回りましても私共の考え方をきちんと受け止めていただいていたことが有難かったですね。

小金丸 苦労は沢山あったと思うんですけど、すぐに忘れられました（笑）地区の会員の皆さん・クラブ・役員の方々からいろんなご指摘やアドバイスを受けましたことは、どれもおざなりにしたことは一つもないですね。全て真剣に取り組んで取捨選択しながら、原キャビネットの方向性が一年間ブレないことで真剣に取り組んでいますよということでも…まあこれは取り入れられないよとか、これはやりましようとか。とにかくキチンとやったことが良かったと思います。それに対する苦労はいろいろあったと思いますが、皆さんの励ましかとか、お褒めの言葉だとかいうもので、辛いことは全て忘れられました（笑）

意見や要望には真正面から対応していただきたいですね

矢野 小金丸幹事にお聞きしますが、原ガバナーの地区



山本ガバナーエレクトのご挨拶。山本キャビネットの船出の第一声



久留米市で開催され、総勢約 460 名が参加した「次期クラブ三役・会員委員長研修会」全景

名誉顧問会議長就任は新たな変革の始まりであり、それが山本ガバナーや吉田ガバナーに繋がるわけで、多くの会員は期待しています。キャビネット運営の継続性をどう考えられますか？また特に今期から来期に受け継いで欲しいものは何でしょうか？

小金丸 原キャビネットと山本キャビネットの方向性の違いがあると思うのですが、やはり地区内からのご意見やご要望は真正面からきちっと対応をしていただきたいと思っています。一年間本当に忙しい地区運営の中で、それをやるのは更に大きなエネルギーを使わなきゃいけないですが、地区運営とは会員のためにあるわけですから、様々な問いかけに答えを出していくことが、地区が良くなることに結びつくものだと思います。それからテクニク的なものを受け継いで欲しいといっても、なかなかそれは難しいものがあると思います。

山本ガバナー提言 「創意・工夫・協調」

矢野 山本キャビネットの、来期一番の目標は何でしょうか？

山本 提言に掲げています「創意・工夫・協調」これをしっかりと進めていきたいと思っています。そして出来るだ

け多くの会員さんにお会いして、ライオンズに対する気持ちを直に聞いてみたいと思っています。様々なご意見を伺うことでこれからの道が開けることもあるでしょうし。

キャビネットは“アクティビティ”を出来ませんね!!

矢野 続けて、山本ガバナーエレクトにお聞きしますが、ライオンズの最も代表的なアクティビティはCSF（視力ファーストキャンペーン）や盲導犬協会支援に象徴される視力保護です。先程の原ガバナーのお話にもありましたマイクロケラトロンもその一環でしょうが、世界的にも国内でも地球温暖化が危機感を持って叫ばれる昨今、地区として環境保全問題を合同アクティビティとして推進するお考えはありますか？

山本 そうですね、環境問題はこれからもっと重要度を増すものと思います。そのなかで4R 福岡博多東LCのL.山本亮や、前福岡市長L.山崎広太郎のインドネシアに対するマングローブ植林プロジェクトや、全国7クラブが支援する沖縄県石垣島のマングローブ植樹も存じておりますし、素晴らしいことだと思います。ただですね、スケールが大きな事業であるということに加えて、キャビネットが事業を行うということは絶対に出来ませんので、複数のクラブやゾーン単位で合同事業を行っていたきたいと思います。大変良いことですから応援はしたいのですが、直接キャビネットが手を出すのは無理だと思います。

小金丸 山本ガバナーエレクトのご意見を補足させていただきますが、キャビネットが事業をするのは難しいと思います。ところが地区に環境保全委員会がありますから、キャビネットからLCIF 資金の申請は出来ますので、昨年より正式な国際プログラムとして「緑化チーム」が動き出しました、委員会が音頭を取って推進した方が良いと思います。

山本 しかしですねLCIFに尋ねたところ、財団の資金交付条件では、人道的な支援が最優先であるとの答えで、抵抗があるようです。L.秦三郎、L.林榮一両名誉顧問がLCIFには影響力がありますので、お願いすることは良いことじゃないですか？最初から諦める必要はないと…

小金丸 そうですね。何でもトライすることは良いことですね。

原ガバナーと小金丸幹事の絆とは？

矢野 私の最後の質問ですが、私はクラブ三役を経験させていただいた時に、幹事だった時ですが、当時の会長と特別な絆が出来ました。原ガバナーと小金丸幹事を傍から見てみると、すごく羨ましい関係であろうと思える

のです。お二人はどのような思いで一年間共に活動されたのですか？

原 私は(重複しますが)澁田キャビネットでキャビネット幹事をさせていただいていましたが、何で澁田さんが私を一本釣りされたのかはわかりませんでした。その時私をフォローしてくれたのが、当時の小金丸副幹事で、現在の私のライオンズに於ける位置付けは小金丸幹事のおかげです。私がガバナーを受けると決意した場面でも「小金丸さんが幹事をしていただけるなら」という条件を心に決めておりました。私が幹事の時に小金丸副幹事が「原さんが、いつかガバナーになった時は俺が幹事をするよ」と何回もいっていただいていたので。(笑) 快く私の幹事を引き受けていただいて、私の足りないところを全て補完していただいて…私自身もクラブ入会5年目にしてクラブ幹事をしまして、その時の会長が15歳位年上の方で、私をうまく育てていただきました。冒頭申し上げました通り、ライオンズの出会いで、お互いが存在し合うんだなあとと思っています。小金丸幹事をはじめ、竹志田勝キャビネット会計、そして副幹事の皆さん達とは一年間最後まで良い関係で終われたと思っています。

小金丸 私は約束してたわけじゃありません(笑) 冗談みたいですが、澁田キャビネットの頃原幹事は「絶対にガバナーなんてないよ」といわれたものですから、先程原ガバナーが仰ったような発言を、何度か飲んだ席でしたのかなと覚えはありますが(笑) それが一人歩きして、ある日突然原さんに「会いたい」とかいわれて(笑)「何を会うんですか？」と問い返しました。周りから聞くとところによると「どうやら(原さん) ガバナーを受けるらしい」ということで、これはヤバイと思いました(笑)それで会社にお越しになるといわれたので、(先に)こちらからお断りしようと思って妻に話して会社を後にしたわけです。ガバナーのお店でお話をしていると、いつもはお茶を出されてすぐに奥に戻られる奥様がガバナーの隣に座って動かないわけですよ(笑) それで私をずーと睨みつけられるわけですね。「小金丸さんがうんというまで私はここを立ちませんよ」という強い決意を感じて、一時間位でしたか馬鹿話してたのですが、「こりゃこのまま帰れない」と思うようになって、幹事をお受けしたわけです。内助の功ですね。家に帰って妻に報告すると「馬鹿か!!」と怒られ大変なことになりました(笑)

澁田キャビネットの幹事を務められた原幹事のお姿を見ていて、非常に優れた人格者であると尊敬していたわけですから、この方なら一年間一緒に出来るかなあと思いました。一年間、怒られながら原ガバナーの意向に沿うような運営が出来たかなあと考えております。これから先、一生顔も見たくないという状態にはなっておりませんので、ご安心ください(笑)

矢野 皆さんありがとうございました。ここからは2Rの徳永委員にバトンタッチいたしますので宜しくお願い

したいと思います。

全国で活躍する若いリーダー達を地区に招請出来ませんか？

徳永 それでは皆さん、いまからややこしい質問に移らせていただきますが、宜しく願いいたします。(一同から笑いが起きる) それでは、続けて山本ガバナーエレクトにお聞きしますが、来期は、GMT(グローバル会員増強チーム) リーダーやマール(会員増強・エクステンション・会員維持・指導力育成の4つの委員会によるチーム) 委員会又は全国で活躍する若いリーダー達を、地区に招請して講演やディスカッション又はフォーラムを開催する予定はありませんか？全国にはこんなに多方面で活躍されている方々が沢山いらっしゃるんだと体感していただだけでも、地区の会員の皆さんの活性化に繋がると思うのですが？特に国際協会の様々なリーダーシップ・プログラムを受けられた若手のリーダー達は魅力がありますね。

山本 今年の初めに徳永さんが私の事務所に来られて、いろいろお話を伺いましたが、その時に、ああ若い方の考え方は純真で素晴らしい意見を持ってるなと思いました。だから若い会員が、今の気持ちとか希望とか、不満を話し合うことは良いことだと思います。ただ、いきなり関東や日本の中心で活躍するライオン達に来ていただくよりも、我々の地区や複合地区(MD)でも素晴らしい方は沢山いるんじゃないかと思うんですよ。決して捨てたもんじゃ無いと思います。そういう方々を探して、まずは話し合う機会を持った方が良くないかと思っています。それから中央のライオン達と話し合うことを検討すれば良いと思います。

徳永 わかりました。現実として地区や複合でそのような方はいらっしゃいますか？

「ライオンズ・リーダーシップ・プログラム」の意義とは？

原 いるとは思いますが…私は「講師育成研究会」をソウルで受けたのですが、その時の講師の一人が西日本エリア GMT リーダーである L 高田順一(富山昭和 LC)でした。去年香港でこの手の会があった時の講師は渋谷名誉顧問でした。ソウルでは3泊4日みっちり鍛われましたが、終わりの段階で修了証書と認定書をいただいたのですが、勉強したものの全部それと引き換えに置いて参りました(笑)

ただそれを、現在のキャビネット構成員の方々を対象に実施しても、ちょっと消化不良を起こすのではないかと思います。今回の東京のフォーラムで若い方々が集められた。そして今回地区でも若い集団(地区青年アカデミー委員会)を立ち上げることになっていますので、そ

ういう（対象の）方々でないというリーダーシップ研修会の効果は身につかないと思います。

小金丸 今回徳永さんの発案で若手のアカデミー設立の話が持ち上がってますが、キック・オフ・ミーティング（準備会）をやって、それから立ち上げようということになるかと思います。その中では、ライオンズの研修を受けるというよりも、全然違う手法でものを考えた方がいい。なぜなら、今のLCは過去に研修を受けた方々が運営してどんどん悪くなっているのです。こういうことは率直にお考えになった方が良く…だから全然違う手法でものを考えて、いまからライオンズをやるぞといわれる若手の会員が、東京のフォーラムで実践された様な問題解決手法でファシリテーター（発言を促したり、話の流れを整理して協働を促進する）を付けて、キッチリ



東京で開催された「全国若手会員フォーラム」のお世話役の方々。左よりL.志賀重信（塩釜LC、332-C地区全国最年少ガバナー）、L.後藤忍（函館グリーンLC、元ガバナー、東日本エリアGMTリーダー）、L.高田順一（富山昭和LC、元ガバナー、西日本エリアGMTリーダー）、L.団英男（神戸レインボーLC、RC、父上は元国際理事L.団忠夫、ライオンズに於けるアングラ組織を得意とする）

※アンダーグラウンド＝前衛的・実験的・裏社会



左、司会者L.小柴登司（横浜みなとLC）
右、L.大野元裕（川口LC、父上は元国際理事 L.大野元昭、中東情勢専門家、数々の著作があり、TV・ラジオに多数出演）以下はフォーラム終了後のL.大野元裕談

「今回の『全国若手会員フォーラム』の特徴は、単純な講義形式ではなく、クラブの垣根を越え、役職等を伏せたままに相互の意見交換を図り、見解を集約することにあつたと思います。僭越ながら、この手法は、小生が講師を務めた講師育成セミナー（FDI）の手法を取り入れたものであり、それゆえ、議論することに慣れておらず、ライオンズの将来について愚痴や飲み会の席ではなく、真剣に意見をぶつけ合う機会が多くない方々の参加意識を喚起したものと自負しています。このようなフォーラムの継続を強く望みます。」

一つ一つの問題を解決して行こうとするわけでしょう？「じゃあ何をすれば良いの？」ということに対して方向性を示すことを組織運営の中身でやっていかなきゃならんと思いますね。若手がやることはライオンズクラブの中でやることだけど、その中身の組織をどうやって活性化して行くかっていうのは、LCと関係の無いところでやっても良いと思うんですよ。だから今から立ち上げる青年アカデミーは『LCってこういうもんだ』ということをおまわり考えなくてもいい。組織というのは（どんな組織でも）一緒ですから、それを活性化しようという手法については僕はどんどん新しいものが出て来て、それを執行部（キャビネットの中核）に答申されて、少しずつ具現化して行くというのが（組織が）良くなる方法だと思います。

ですから山本ガバナーエレクトが（若手の要望に対して）「聞く耳持つよ」といわれてるわけですから、その中でお話し合いになられて、様々な問題解決手法をぶつけられて、良いものを作って行くことが大事だと思います。

山本 昨年のシンガポールで行われた研修には私も参加しまして、この時の講師が東日本エリアGMTリーダーであるL.後藤忍（函館グリーンLC）と関西のL.団英男（神戸レインボーLC）でした。その時私も5泊6日で教わったんですが、（研修は）非常に素晴らしいことではあるけども、でもそれは大半の研修を受けた方々には当てはまらないものだと思うんです。ある特殊な人…時間使って、お金まで出して…そういう人には有意義でしょうね。

会員の為の『ブレインストーミング』の必要性とは？

徳永 私が質問しているのは、このリーダーシップ育成プログラムを実行するというよりも、そういった経験をされた方々が、ファシリテーターの役割で、会員に自由に意見を聞いてあげることが重要でないかと言いたいわけです。結局組織を批判する会員の方々は、あまり対案が無いわけですね。ただ愚痴を言っているに過ぎない。それだと地区の指導者の方々も愚痴は聞いてくれないで



「次期クラブ三役・会員委員長研修会」に於いて、講義する古賀次期幹事



「全国若手会員フォーラム」会場全景



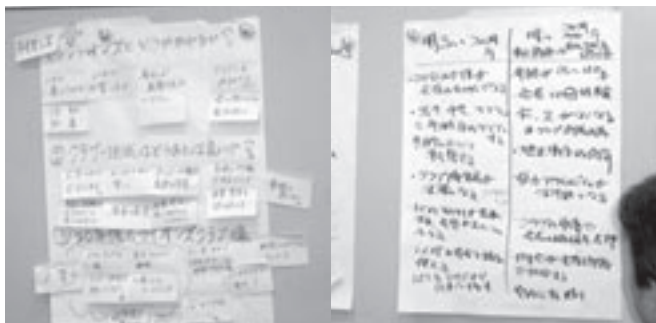
参加者達は（画面中央の）ファシリテーター（L. 清水直喜、敦賀みなとLC、JIYD ライオンズクエストプログラム説明員）のもと、意見を集約させていく



グループ毎に集約した意見を発表。その様々な可能性を秘めた意見に会場は盛り上がる。左端は、佐竹キャビネット副幹事



全国から自発的に集まった“熱いライオン達”による意見のぶつかり合いは、様々な言葉となった付箋により集約され、徐々に形を整えていった



しょうし…自由な意見交換を元に地区を活性化する機会を我々に与えて欲しいわけです。

山本 そうですね。今回の機会（青年アカデミー）は良いことだから、率直に意見交換をしていきたいと思います。今のライオンズは不平・不満が多過ぎるんですよ。何が原因か尋ねたら「原因はわからない。ただ人（他人）が悪いというから」…「面白くもないし」という程度のご意見ですよ。

徳永 その程度なんですね（笑）

古賀 GMT の件ですが、クラブが高齢化すると「昔はどうだった」とか先輩ライオンが若手におっしゃるわけですよ。それを聞いた若手は「それならライオンズなんか面白くないや!!」と思うわけですね。だからライオンズの改革は必要だと思いますよ。年齢差・世代のギャップによっていろいろな問題は生じて来ますね。5年先、10年先を考えると、高齢化に拍車がかかりますから、リーダーシップ育成は必要だと思います。世の中も絶えず変化しているわけですから、高齢の会員は「これからは、若いものに任せるよ」と「資金面はカバーするから、皆で頑張れ」とか言っていたきたいですね。**若手を育成するリーダーがいらないクラブは衰退していきますから、私はライオンズの未来を語る人こそ真のリーダーではないか**と思います。

小金丸 逆に今徳永さんがいわれたように問題解決手法で（皆がブレインストーミングで）がんがん意見を出して“何が問題でそれを解決するためには何が必要なのか”ということを書き出した中で整理していく。こういったファシリテーターの役割はライオンズと関係ない方を連れて来ても良いと思う。一般的な組織運営を知っていれば、ライオンズを知らなくても構わないわけですよ。それでそう言ったトライを一回やって見るべきじゃないかと思います。

今期一番力を入れてやりたかったのが、新会員の研修会でした。やはり新しくライオンズに入会して来られた方々、そして入会3年未満の、LCをあまり理解されていないメンバーの為に、「ライオンズってこんなものなんだ」という理解をして欲しかったわけですね。来週もここで第二回目が開催されますが、一回目も二回目も同じ目的ですが、早くライオンズの本質を理解してもらいたい。ライオンズは何も難しいものじゃないですね。「先輩ライオンの顔色見ながら活動するわけじゃないし、やはり自分の為に活動するのがライオンズなんだよ」と正確に理解していただきたいのが第一ですね。本質を理解した上で、問題解決手法を使ってこれからのライオンズを良くしていただきたいですね。

徳永 そうですね。

古賀 ブレインストーミング（自由な雰囲気、他を批判せずにアイデアを出し合い、最終的に一定の課題に、よりよい解決を得ようとする方法）は、クラブの活性化に相当繋がるとおもいます。来期は各クラブが例会で時

間を割いてやって欲しいですね。

『ライオンズクラブの会員減少警戒レベル』はどのレベル？

徳永 ズバリ皆さんにお聞きしますが、皆さんは現状のライオンズ（地区）に危機感を感じておられますか？個人的なご意見で結構ですが、危機感を6段階評価とすれば、どの位のもののでしょうか？…原ガバナー如何ですか？

原 えー…これで判断するわけですか？少なくともフェーズ4には達してますよね。フェーズ5と答えちゃうと、我々は今まで何をしていたのかということになりますんで、4と5の間位ですね。

山本 私も原ガバナーと同じで（笑）フェーズ4から5位だと思います。私のクラブのメンバーも例会に来て何も言わずに承認だけされて、スーと帰る人も多いんですよ。それを見て「何なのだろう？」と思う時がありますが、ふれあいが無いんですよ。その内、用件を作って例会に来なくなる人が、だんだん多くなって来ますよね。私が会長の時のメンバーは90名超いましたが、今は半分位です。これから更に減少する気配があります。こんなこと言うと、原ガバナーがドキドキされると思いますが、例年の如く「6月末にはどの位メンバーが減少するのか？」と考えています。

だから我々もどうにかしなきゃいけないと思っているのですが、今のところは「コレ!!」という決定打は無いし、ただ様子を見て…「このままではダメだ!!」と…皆さん言っていることは同じなんです。組織の先細りに対する荒治療が出来ないでしょ？手術しないとダメなのに…**ライオンズは病気に罹っているんですよね。手術しないと、どんどん減っていきますよね。**

小金丸 この警戒レベルというのは難しい問題なん

ライオンズクラブの会員減少警戒レベル

フェーズ1	地区の会員数に若干の変動はあるものの危惧するには至らない。	危機感未確認
フェーズ2	徐々に地区の会員が減少しているが一過性のものと認識する。	危機感希薄
フェーズ3	地区の会員減少が例年続くようになる。	危機感確認 危惧・憂慮
フェーズ4	長期に亘り(10年以上)地区の会員減少が慢性化して、歯止めがからなくなる。	危険
フェーズ5	組織運営やアクティビティに支障を来している地区内単一クラブが全体の30%を超える。	高度に危険
フェーズ6	地区を超え、退会者が続出し、同時多発的に多くのクラブが消滅する。	パンデミック

※本警戒レベル一覧表は、2R・PR・IT・ザラタ編集委員 L. 徳永修一郎が作成いたしました。

ですが、原ガバナー（田川 LC/140 名超）も私（飯塚 LC/120 名超）も非常に大きな組織のクラブにいるものですから、クラブ内の組織運営では全然危機感が無いわけですね。ただ、今回地区運営をさせていただいた感触では、私はフェーズ5に来ていると思います。だから何をすれば良いのかということですが、有名無実のものであったゾーンレベルでの会員委員会を役員・委員の方々に再立ち上げしていただいて、ゾーンレベルで様々な問題を話し合っていただくことが（クラブの大小はありますが）これからの会員増強に繋がる意識を高めることになればと思っています。

それから、先程お話が出ました GMT チームは大きな流れの中で活動されてますので、単一クラブに対しての効き目はなかなか無いんじゃないかと思っています。だからゾーンレベルで充分話し合って、危機感を持っていたきたいと思っています。本音をいうと、地区の運営者としては危機感を持っていますが、キャビネットは単一クラブに対して手を差し伸べることは出来ないんですよ。単一クラブ自身が危機感を感じて、ゾーンや会員委員会を巻き込んで自主的に改善しないといけないですね。今期は『クラブ会員委員長の手引き』も発行しましたので、じわじわとフェーズ5からの脱却を図らないといけないですね。やはり一年任期では何も出来ないと、ひしひしと感じているところであります。

古賀 私は、こういう数値では現わせない状況だと思いますが…

徳永 フェーズ7という意味ですか？

古賀 いや数値でいけばフェーズ4です。現状のノンライオンが参加する各種ボランティア団体は、以前と比べると格段に多くなっています。本来我々が行ってきたアクティビティをノンライオンの方々もやっているわけです。我々がやることが無くなっちゃったんですね。ですから次期の（ガバナー）提言である「**創意・工夫・協調**」をテーマに、私達は何か新しいことをやらなくてはいけないと思っています。地域住民や様々なボランティア団体の方々と意見交換しながら、ライオンズを理解してもらいつつ、会員減少に歯止めをかけなければならないと思います。「改革」には時間がかかるがやらないといけない。

もう一つは地域に対する PR です。ライオンズは誤解されていますね。地域に密着したアクティビティを実施することによって、本来の LC の姿を見てもらい、会員増強にも繋げていきたいと思っています。当たり前のことですがこれを続けていかないと、この経済不況の中で諦めてしまうとダメじゃないですか。若い新しいメンバーが集まってくれる様にアイデアを出して、絶えず動き回らないといけません。高齢化・マンネリ化の結果が組織の衰退に結びついています。JC やロータリークラブに入会する人は多いのに、ライオンズは少ないですね。原因はマンネリ化です。

ライオンズのマンネリ化が現状を招いているのですよ!!

小金丸 飯塚ではJ・Cからライオンズに入る方が多いですよ。地域性ですかね? 飯塚LCでは40代のメンバーが増えているので平均年齢が下がって来ています。高齢者ばかりのクラブに若い人は行きたくないですよ? でずから山本ガバナーエレクトが「ライオンズは病気だ!!」と仰ったことは本当だと思います。アクティビティ云々も大事ですが、その前に組織運営に力を入れないと…。治療しないと病気は治りません。**同じことを連綿とやってきた結果が、現在の状況を招いているんです。**だからカンフル剤を打つとすれば、これから立ち上げる「青年アカデミー」等でどんどん自由な意見を出し合って、これからどうすれば良いかということを真剣に考えていかないといけないですし、我々はそういった若い人材の後押しをしなきゃならないですよ。

過去に、ライオンズが一番伸びた(会員拡大)時期は、私が小学校の頃ですが、単一クラブのチャーターナイトはもの凄く多かったですよ。私は親父に連れられてそういった場面を見せてもらって、(小学)3年生くらいから「ウォー」とやりましたがね(笑)人が沢山いて楽しそうなイメージだったから、ライオンズを覚えたんですよ。そのころライオンズを牽引してたのは、40代から50代の会員がメインで動かしてたわけですよ。吸収力も早い・理解力もある・実行力もある世代が、今から行動していかないと、今迄の経験値だけで「こうだ」「ああだ」なんてことを、これから先もずーと続けていたら病気から脱却できない。本当にここで思い切って外科手術するとすれば、対案を伴った若手のキッチリした意見を取り入れなければ、いけないと思います。

山本 ある意味(ライオンズも)捨てたもんじゃないですよ。地区では1年間に四百数十名の入会者がいます。ただ辞める人が六百数十名いる…この差は何なんだろうかと思うわけです。

クラブの垣根を超えた、違う顔が見える『青年アカデミー』

小金丸 それはやはり経済不況だけの問題ではなくて、会員減少と共にクラブの自主運営が困難な状況になって来ている。例会に出席しても同じ顔しか見えない。だから面白くない。徳永さんが提唱された「青年アカデミー」は、ゾーン・リジョンの垣根を越えて「同じ世代の人間が横に集まろうや」と、そこに行くと“違う顔が見える”“違う話が出る”ということでクラブにいるのとはまた違った環境で「LCって楽しいね」という風になれば、新しい形が出来上がる。非常に僕は期待しているんですけどね。



2R 合同事務局に於ける、福岡大名LC「青年アカデミー委員会」会合風景



徳永 ありがとうございます(笑)

古賀 そこから新しいリーダー達が誕生するわけでしょうが、新しいことをしようとする、指摘を受ける場合が多いじゃないですか? あれは止めていただきたいですよ。まかせてもらって良いと思うんですよ。

小金丸 (笑)次期はもう古賀次期幹事の思う通りにやってください(笑)

古賀 「青年アカデミー」を堂々と若手ライオンがやって(また私達が)やらせてみて、そこから自然と芽が出て来るんじゃないかと思います。

小金丸 (笑)だから古賀次期幹事が怒られるだけ怒られて、若い方々に怒られたことをいわなきゃいいんですよ(笑)今期の私みたいに(爆)

古賀 私…打たれ上手になりそうです(笑)

徳永 次期の幹事は頼もしいですね(笑)

古賀 新しい事をはじめると、何でもそうですが、彼方此方からいろいろいわれますよね。だけどしっかりした理念や目標をもって事に当たり…一人じゃ何も出来ませんから、若手のグループを作って地区の活性化を推進していくわけですね。

小金丸 現状の単一クラブはミニクラブ化して来ているわけで、クラブ内にも(人数が少なすぎて)グループ(仲間)が出来辛くなって来ているわけですよ。だから広く横断してクラブの垣根を越えて「俺達は同じライオンズなんだ」という連帯意識を持った世代がスクラムを組ん

で、地区を動かそうと考えられていることは良いことですよ。

古賀 5年先、10年先の事を考えたらこれは大事なことですな。

地区全会員を対象とした “意識調査”の必要性とは？

徳永 皆さんありがとうございます。非常に心強い皆さんのお言葉で、私…楽しくなって来ました（笑）先般の東京で開催された全国の若手会員フォーラムでも、20年後の未来は考えられないと答えたグループもありました。現実問題このまま何もせずに突き進んで行くと誰も明るい未来は想像出来ないんじゃないでしょうか？やはり夢や希望を会員に与えることが出来る地区にしたいですね。

先程の警戒レベルの認識については、どなたもこのままで良いと思っている方はいらっしゃらないということですよ。

次に地区全会員による意識調査の必要性について皆さんにお聞きしますが、LCは役員経験者のどなたにお聞きしても、完全なトップダウンの構造組織ですね。ここでボトムアップの必要性を私なりに感じているのですが、例えば帰属意識の問題・組織の問題・PRの問題・アクティビティの問題等について、地区全会員の皆さんに一度意識調査をやってみたら、皆さんの本音が聞けるのではないかと思います。地区やリジョンの運営は、キャビネットを筆頭に、地区名誉顧問会やリジョン顧問会に所属される役員の方々が考えたことを実行に移しているわけですね、例年。それ以外の多くの一般会員の皆さんの声はなかなか届きませんね。そのことが閉塞感

に繋がって皆の不満が溜まっていくという構造ですね。不満をぶつける捌け口もないんですよ。ですから何かの形で地区に自分の意思表示をしたいと思うのは普通の感情だと思います。この捌け口の一つとして全会員の意識調査を行うことによって「（特に納得していない方々は）ひょっとすると自分の意見が地区の指導者の耳に届くのでは？」と期待されるでしょうし、鬱積を解消する一つの要因にもなると思うのですが、山本ガバナーエレクトはこれについてどう思われますか？

山本 これ等の問題は大きな山ですね。私も副地区ガバナー選挙が終わった後に様々な方から「このままじゃダメだから、改革してくれ!!改革してくれ!!」といわれました。「こうしたい。ああしたい」といった気持ちはあるんですが…しかしいろんな名誉顧問の方々と一人一人お話をさせていただいて、この山の問題は簡単に一人二人で解決出来るものじゃ無いと思いました。これらの問題を本腰入れてやるとすれば、自分の首を賭けなきゃいけない。私をバックアップしてくれる協力者が数十人いないと何も出来ないと思います。多分過去のガバナーの皆さんも同じだと思いますよ。現実には直面したらですね…副地区ガバナーと地区ガバナーでは当然意識の違いがありますね。ガバナーになると責任が（己）一点に集中してくる。自分の意見が四分の一でも五分の一でも通れば良い方ですよ。そういう風にこの頃感じて来ました。

小金丸 「改革」って一言でいうけど「何を改革するの？」ってことになると思うんですよ。我々は日本のLCですよ。国際協会からの指示はアメリカ流でやって来るわけですよ。GMTチームでもLCIFでもそうですが、国際理事会を通った議案が単一クラブまで降りてくるわけですよ。それをガバナーは実行しなければならぬと、誓約しなきゃいけないわけですよ、ガバナーになるには。だからそういうことからいっても「何を改革するの？」ということになるわけですね。LCという組織が日本に到来して既に50年以上も続いた事自体が本当に凄いことです。しかし、ここ等で少しは日本らしさを出してもいいんじゃないかなと思っています。例えば「ガバナー諮問委員会を年三回やりなさいと決められているから、お金が無駄だけどもんなきゃいけない」と言われるZCもいらっしゃいますよね。そういう事に関して、もっと違うやり方を模索するとか本当は考えたいですね。でもプログラムの決まりだから地区としてもやらなきゃいけない。だからその辺から手をつけないと「改革」なんてことは小手先のものにしかありませんよ。

それ等を打開するには、問題を複合地区に持って行って、ガバナー協議会で討議してもらって、議長が日本8複合の議長連絡会に行ってお話をされる。その話を国際理事がお聞きになって国際理事会に持っていかれるという複雑なプロセスの組織になっているものだから、なかなか地区単独で「改革」というのは難しいと思います。こんなの地区運営やってやっとわかりましたよ。



334-B 地区「獅子吼」2008-2009 Vol. 2]

334-B 地区（岐阜・三重）は、87クラブ約3,900名の会員を擁する。準地区誌は「ザラタ」の代わりに「獅子吼」を年二回発行している。25項目26ページにも亘る地区全会員による意識調査の趣旨は「ライオンズクラブ変革」であった。「会員増強」「例会のあり方」「アクティビティ」「ライオンズクエスト」「四献」「LCIF」「地区誌」「地域貢献」「環境保全」のテーマ別に質問事項が分けられている興味深いものである。

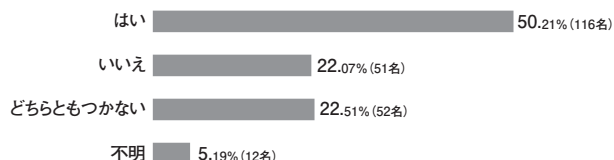
余談であるが、334-B 地区のガバナー持ち回り輪番は、

87単一クラブの輪番であるという“驚愕の事実”をお聞きした。RCやZCはともかく、キャビネット三役・副幹事・地区委員長あたりの人事は大方ガバナー輩出クラブで構成されるらしいという事。そうすると地区運営経験者がいないので、委員会に副委員長（合算2年委員会に所属）のポストが存在する事。87年に一回の順番は、過って一度もパスされたことが無い事…世間は広い。

我々は“意識調査”の前に十分な討論をしなきゃいけません

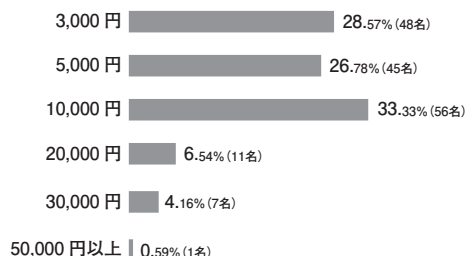
あなたはライオンズのPRの一環として地区でTVCMを放送した方が良いと思いませんか？TVCMを放送することにより、地域社会への絶大なPR効果や、会員の誇りを取り戻す効果、会員の意識改革、職場や家庭への理解促進、会員増強等に大きな効果を得られるものと思われる。

2RLC 会員 1,000 名アンケート



あなたは地区でTVCMを放送するとしたら、地区合同PR基金として、クラブ年会費とは別に年間いくら迄の拠出金を支払う事が可能でしょうか？下記より選択してください。

2RLC 会員 1,000 名アンケート



原 それからアンケートの問題ですが、これは設問次第でどういう答えを引き出すかという前提で設問すれば、そういった答えが出て来るだろうと思うんですよ。だから失礼な言い方ですが、今ここで地区全会員に対するアンケートというよりも、「青年アカデミー」等でももう少し率直に意見を出し合って、問題意識を皆さんが共有した上で、話の集約・意識調査・アンケートの結果と、出て来るようになれば、非常に私は前に進むようになると思います。現時点では「ふくおか2R」のアンケートにしても、徳永さんが期待する方向に設問を設定すれば、あなたの期待する方向に答えが導き出されるでしょうね。

徳永 私の誘導尋問というわけですね（笑）

原 多くの会員は中間的な、どちらでも良いという方々でしょう。現時点のアンケートはあまり当てにならないと思います。純粋にライオンズを想う人達が先に討議すべきだと思います。現実に地区のトップはがんじがらめの状態で…しかし複合の会議でも（小金丸幹事が眼で発言をしると促すものですから）しょうがなく意見を言いますが、他地区のガバナー達は何も言わないですよ。それで帰りに二人で憤懣やるかたなしという按配です。私の原点は単一クラブが活性化すれば、地区の運営が出来るとしていますし、国際協会の一員であることは紛れもない事実ですから、日頃（公で）発言をする場所が無い方々が集まって、先を見据えた熱い意見交換をやりな

がら、自から出てくる結論を持って進んでくだされば、非常に活性化されるんじゃないかと思います。

ガバナーに諮問されて「会長の皆さん!!ちゃんと答えていますか？」

小金丸 今期の諮問資料は皆さんにお渡ししたと思いますが、あれもね、アンケートに近いものを使ったんですよ。各クラブの会長の考え方をお聞きしたわけですが、皆さん大過なくお答えいただきました。誠真な意見を書かれたクラブもありましたけど、極少数ですね。それから前期からの踏襲をするクラブが多かったですね。ライオンズは何か「踏襲することが良いことだ」といった感がありますが、それがマンネリ化・閉塞感の原因ではないでしょうか？

徳永 そうですね。

小金丸 続きですが、今期過去に無い資料をクラブに投げたら「どうやって答えていいのかわからん？」とかね。「設問の何番目は前期と同じです」とか頓珍漢なクラブも多くて、ちゃんと考えてクラブ運営していないですね。自分の意見を持って会長になられた方は少ないようですね。ミニクラブになればなる程その傾向は強いですね。だから坂道を転がっているような気がします。そういう意味でもアンケート調査の結果が正確な意識の反映とは単純に思えない部分もあります。

山本 多分来期の諮問委員会も、前期の資料引っ張り出して答えられるクラブもあるでしょうし、合同事務局で周りのクラブの答えをみたりするんでしょうね（笑）

小金丸 だから今期の諮問の内容も今までに全く無かった設問をぶつけてみたわけですよ。「設問が難しい」といわれる会長もいましたが、クラブ運営をきちんと考えている会長は「今年の設問はやさしいですね。何も見なくても自分の考えが書けます。」と仰っていました。各会長の考え方の違いがあらさまに出ましたね。

徳永 事務局員に回答を書かせて提出するクラブも多いと思いますよ。会長なんか受けなきゃいいですよ（笑）

山本 そうですよ。他所の答え見てるんだから。



ガバナー懇談会を進行するキャビネット三役

カンフル剤としての、ライオンズ TVCM の可能性とは？

徳永 これからは、今後のライオンズの PR の可能性を映像とデータを元に皆さんにお尋ねいたします。この資料は㈱電通九州に提供していただきました。ポイントとしては、近年（過去 10 年間のデータ）NPO の爆発的な増殖（全国 1,364 団体→ 36,551 団体）によりライオンズの存在が希薄になって来ていることに比例して、会員が減少（全国 168,038 名→ 111,922 名／ 33% 減）している現状があり、それを踏まえて「ふくおか 2R」誌上に於ける会員意識調査の結果、先程の原ガバナーのご指摘のような問題もあるのですが、多くのライオンがノンライオンに対する PR の重要性を認識し、また最も大きな効果（PR）をもたらすであろう TVCM に関しても、個人負担の拠出金の問題も含めて一定の賛意を示している現実。これを踏まえて、今回サンプルとなった 240 名に及ぶノンライオンの意識が（ライオンズに於けるイメージとして）**アクティビティの認知をした瞬間に大きく理解度や好感度が増す**という結果になっています。アクティビティの説明をする前のイメージはやはり誤解だらけですね。

TVCM に関しては、賛否両論あるのはわかるんですけど、地区としてもっと PR に対する様々な可能性の議論があっても良いのではと思います。討論に関連していますと「青年アカデミー」の基本的な第一のルールとして『人の意見を頭ごなしに否定しない』を考えているのですが、先輩は後輩の意見を頭から否定する人が多いですね。これじゃあダメなのではないですか？幸い当クラブ（福岡大名 LC）の先輩方は、若手の話をよく聞いてくれますけども…また指導者の方々はこの調査報告をご自身の主観は横に置いて、素直にお認めにならないのでしょうか？

東京若手フォーラムに於ける GMT リーダー L 後藤忍のお言葉ですが「**TVCM は大変良い事だと思う。TV でユネスコを見ても良いと感じるし、CSF で世界三千万人の視力を回復した事など堂々と発表すべきです**」と仰っています。

ここで一番問題となるのは広告費用ですが、この数千万円という費用をアクティビティに使ったら良いとのご意見もありますが、それと PR の重要性とは論じる争点が違うと思うのですが？

先程のライオンズ存亡の危機感が極めて高ければ、地区が保全している様々な資金の拠出もあり得るでしょうし、個人負担の拠出金も一人がいくらで（それは未だ巨大な組織であるから）こんなにもインパクトがある事が出来るんだという考え方になっていただいた方がポジティブですね？これは病気の治療に対するカンフル剤の一つになりませんか？ライオンズクラブが無くなって

しまったらアクティビティも何も出来なくなりますよね？

今期の地区 21 クラブの合計周年事業費は約八千万円でした

古賀 LC は本来社会奉仕団体ですから、今期地区 21 クラブの周年記念事業の総額は約 8,000 万円（内訳 CSF II に約 25%、地域公共団体・施設に約 50%、盲導犬・青少年支援に約 25%）にも上ります。でも市民の方々はこれを知らないですね。昔は新聞記者との交流がいろいろありましたが、今は無いんですよ。マスコミと仲良くして記事にしてもらうことは大事だと思います。CSF II にしても地区ではあれだけ大々的にキャンペーンしながら、市民には理解してもらってませんね。我々としてはこれは誇りなんですけどね。

ノンライオンからの誤解を我々は認識していないのでは？

小金丸 この資料の中でノンライオンに対する意識調査がありますよね。こういう風に誤認されていることに関しては、我々は知らないわけですね。この現実を地区の皆さんが認識されれば、費用についての議論も出来るんじゃないかと思います。現在地区には数千万円の緊急援助基金があります。それを使えば TVCM は出せますよ。「我々は病気なんだからカンフル剤打とうじゃないか」と「他人の心配する前に、自分達の為に緊急援助基金使おうじゃないか」という考えだってありますよ。それは、地区の皆さんの理解を得られればお金はあるわけですから、いつでも TVCM 出来ますよ。“ノンライオンに如何に認知度が低い” “本当に TVCM をやるべきなのか？”を話し合えば良いわけです。

徳永 小金丸幹事の頼もしいお言葉ですね（笑）

原 あのー…もう（我々は）任期も終わりですから（笑）…あまり責任の無いお話は…私は総論賛成極論異議有りですね、地区でアンケートを取っても大方そのような賛同意見が出てくると思うんです。徳永さんはそれを上の方に持って行ったら、根っこから反対されたと言ってるわけですが、しかしそれを責任を持って実行する立場になると、どこに問題点があるのか？どんな問題が発生するのかな？ということで、首をかしげてしまうのはやむを得ないと思うんですよ。小金丸幹事が緊急援助基金を使う考えもあると仰ったが、これを使う為にどのようなテクニックでどのような資料を皆さんに見ていただいてご理解を得られるのか…これは大変なことだと思います。TVCM の目的を達成する為に、その意義を皆さんに理解してもらうプロセスが大事な訳で、現状の 2R のアンケートに賛成と答えた人達も「あなた達がやってくれるんなら、それは良いことですよ」という意味で賛成なの

か？真剣に考えて答えられたのか？わからないですよ。

私のクラブ（田川 LC）でも、飲み屋街に行ってバッチ付けて「ライオンズだ」といって大手振って、3,000 円の割り勘で飲み歩いて、これがね、ライオンズの実体かと思うとね、反省しなきゃイカンですよ。そんなんでノンライオンの方を招請してですね「ライオンズというのは崇高な社会奉仕団体ですよ」と理解を求めてもね、そういう一面を見た人達は「ただの自己満足じゃないか!!」との答えしか返ってきませんよね。PR 以前の問題で、皆さんもっとライオンとしての自覚と目的を持たなきゃいけません。

本当に素晴らしいアクティビティであれば、マスコミは取り上げてくれると思いますし、氏名を公表せずとも一億円も寄付される個人の方もいらっしゃる時代なわけですから、ライオンズが地域の清掃や植樹をしたところで、取材に来てくれるマスコミなんていないわけで、本当に地域に貢献出来るのであれば、タダで PR してくれますよ。それをもっと考えなきゃいかんと思います。

徳永 PR 委員会の本来の役割は「クラブおよび国際協会の活動その他について地域社会および会員に周知（あまねく知れわたる）する」とあります。マスコミに取り上げられる PR 活動が少なくなっている現状を踏まえて、ザラタやリジョン誌、又はクラブ会報・各種 HP がそれを補っているとはとても思えません。例え新聞に記事が載ってもローカル面にほんのチョコットです。

少なくともザラタの発行を年一回とし、発行部数を 210 万部（福岡県の世帯数）に増やせば、何らかの効果は挙がると思いますが、費用は TVCM の数倍（数億円）も必要となるでしょう。これは現実的には不可能ですね。

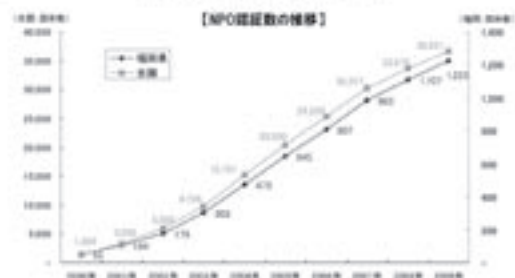
過去にライオンズは戦略的な PR 活動をやってこなかった…結果としては身内（会員）に対するアピールに留まっている。山本ガバナーエレクトは、これからの PR をどうすれば良いとお考えでしょうか？

山本 そうですね。今までの大きなアクティビティは LCIF に代表されるように、国外に資金を拠出するものが多かったと思います。しかし現状は我々ライオンズ自体のお尻に火が付いている状態であって、もっと自分達の足固めを、地元に対して奉仕をすべきだと思います。確かに後進国に対しての奉仕活動は良いことだと思いますが、今はそういう状態じゃ無いと思います。こんなことという次期の LCIF 委員長から怒られるんでしょうけども、自分達の組織の危機感を大きく感じているのに…じゃあノンライオンに我々の活動の何を一番アピール出来るのか？これを皆で考えてみななければいけないと思います。

古賀 私のクラブ（大川中央 LC）は以前年二回外報（現在年 1 回、奉仕活動報告）を（地域に）13,000 部発行しています。直接的な反応はよくわかりませんが、地域の皆さんにライオンズの（存在の）認識はあると思います。「ライオンズって何をしているの？」ということをおもわれているでしょうから、配っているわけですが、公共施設や金融機関に外報を持って行くと、何かの時は協力してもらえますね。そして他のボランティア団体との交流も図っていかなければならないと思います。ノンライオンはライオンズに対して隔絶した感覚をもたれているのも現実ですから。それからゾーン単位での合同誌をノンライオン向けに発行・配布することを考えていかなければなりませんね。



NPO・ボランティア団体が急増



◆近年、ボランティアへの意識は高まっており、内閣府の資料によると、NPO(法)の登録数は増加しており、09年には全国で約3万を超えています。福岡においても、約1000団体を越え、2000年の20倍にも登録数があがっています。

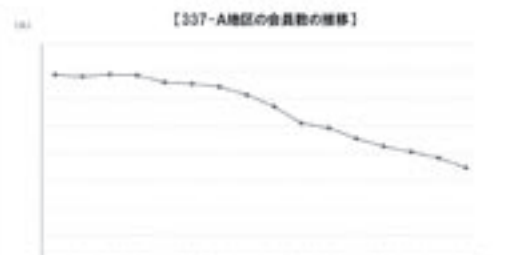
◆このようなボランティア団体の増加は、社会全般的にボランティア活動の意識が高まる一方で、各団体の存在意義の低下や、各団体の活動人数の低下も招いています。

※NPO・ボランティア活動の増加は、社会全般的にボランティア活動の意識が高まる一方で、各団体の存在意義の低下や、各団体の活動人数の低下も招いています。

アジア・フォーラムが2012年に福岡で開催

- ◆3年後の2012年に福岡で「東洋・東南アジア・ライオンズ(オセアニア)フォーラム」が開催が予定されています。日本では7年に1回開催され、福岡では実に35年ぶりの大会となり、全国的にも注目を集めます。
- ◆前福岡フォーラムが35年前のことから、前回の福岡フォーラムの経験者も少なく、特に今後3年間はライオンズクラブの福岡エリアのさらなる結束が必要です。また、組織としての「何をすべきか？」の真価が問われる時期といえるでしょう。

LCの会員減少傾向



- ◆NPOの登録数と反比例するように、LCの会員数が減少しています。全国では平成5年には約16万4千名所属していた会員数が平成20年には約11万6千名に減少しています。
- ◆福岡においても同様の傾向が見られ、平成5年には約6000名であった会員数が平成20年には約4100名と約3割の減少となっています。
- ◆また、近年の悪化傾向の社会情勢を考慮すると、このままだと会員数の減少傾向はさらに進まると予想されます。

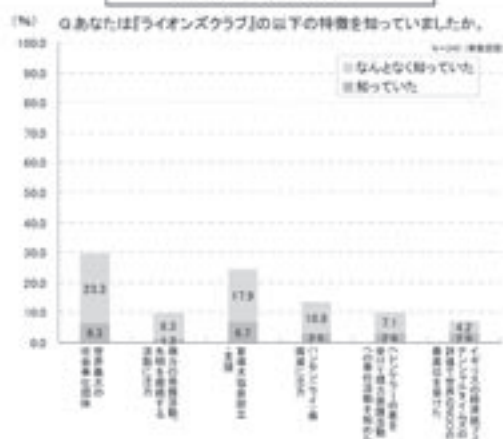
■ リテンション強化が最大の課題

■ アジア・フォーラムに向けて結束強化を

生活者調査④ アクティビティの認知と意識変容

★生活者に対しても、ライオンズクラブのアクティビティの認知を聞き、さらに各アクティビティに対する意識変容を聞きました。

アクティビティの認知



- ◆アクティビティ認知を聞いたところ、全般的に低い数値となっています。
- ◆「知っていた」という絶対認知率においては全ての項目で1割以下となりました。

アクティビティ提示後の意識変容

Q あなたは「ライオンズクラブ」の以下の活動を知って印象は変わりましたか。各特徴についてお答え下さい。



- ◆アクティビティを提示したうえでの意識変容を聞いたところ、全般的に高い評価を獲得しました。
- ◆そのなかでも、「盲導犬協会設立」「視力の保護活動、失明を予防する活動に注力」「ハンセン病療養所への注力」など具体的な活動に対する評価が高い傾向を示しました。

- アクティビティ認知後、好イメージへの変容度が高い
- 視力・盲導犬・ヘルペスウイルスなど、具体説明への反応が良好

・インナーの意識に加え、生活者がライオンズクラブに対してどのような認識をしているか確認すべきだと考え、福岡の一般生活者へ意識調査を実施しました。

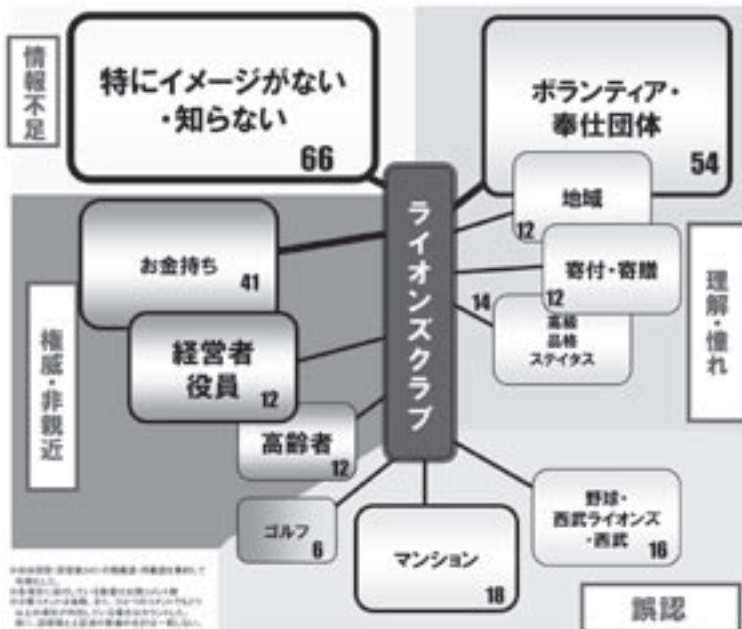
調査設計

・調査手法
インタビュー調査
・調査対象
福岡県
・調査地域
福岡県
・調査期間
2020年4月14日

★まずは、自由回答でライオンズクラブの第一印象を聞きました。

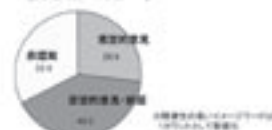
【ライオンズクラブの一般生活者の知覚】

※自由回答で「ライオンズクラブ」について、どんな印象を聞きましたか？
※自由回答で「ライオンズクラブ」について、どんな印象を聞きましたか？
※自由回答で「ライオンズクラブ」について、どんな印象を聞きましたか？



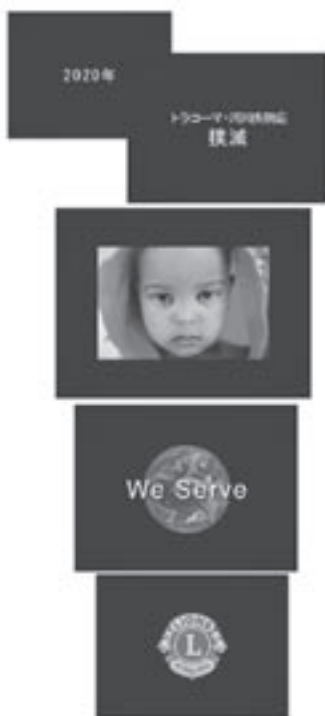
- ◆一般生活者にライオンズクラブのイメージ・印象を自由に回答して頂き、その回答を言語分析し、支配に可視化しました。
- ◆最も出現した回答は「特にイメージがない・知らない」が多く、基本的に情報不足がうかがえます。
- ◆次いで「ボランティア・奉仕団体」が多く、正當な理解をしている言語が出現しましたが、次いで「お金持ち」「経営者・役員」となり、非親近的に解釈できる言語が多く見られました。
- ◆また、由々しき課題として、マンションや野球の球団など誤解・誤認している人が相当数見られました。

【出現回答の傾向 (%)】



- 情報不足が否めない
- 非親近感がみられる
- 誤認情報がみられる

※自由回答で「ライオンズクラブ」について、どんな印象を聞きましたか？
※自由回答で「ライオンズクラブ」について、どんな印象を聞きましたか？
※自由回答で「ライオンズクラブ」について、どんな印象を聞きましたか？



子供たちから視力を奪う、トラコーマなどの難病を

この地球から撲滅するために。

世界でライオンズクラブの挑戦は続きます。



ヘレンケラーの私たちへの呼びかけが、活動の原点です。

一人でも多くの方に、盲導犬と共に歩く

喜びを届けるために。

福岡でライオンズクラブの活動は続きます。



角津子さん（中央）の歌謡ショーを楽しむ
入場者たち

[illegible]

出征の碑に協力の輪

[illegible]

市民「戦争も門司港の歴史」



市、建立許可へ

1997年12月15日

薬物ダメ児童に訴え

日の里西小で防止教室

定額LC

市議会ライオンズクラブ
 (会費を交す会費) は千
 九百、三箇市日の所
 日の日の所を、学校
 「市議会ライオンズ」を
 開いた、今年で「三
 大市の大規模使用を
 相次いで明らかになる
 中、千もの交を千の
 物所の使用を千の
 てゐるが、
 費では、千の
 年費は、千の
 引地方を千の
 「千の」
 「千の」
 「千の」

福岡から寄贈の中古消防車
タイの訓練に二

役



訓練中のタイの消防学校教官ら。右後方が「かすや南ライオンズクラブ」から新着の消防車・タイ・パトームタニ

家族のきずな題材に熱弁

中・高校生弁論大会に21人

[illegible]

つばさ少年少女合唱団
仲びやかな歌声披露

福興市

③ 主催委員の40人 会場に拍手沸く
福岡市内の三つの児童 二時に、会場へ大きな
運動場の子どもので 約が満ちた。
くる。つばき少年少女
組は、第三十六回福岡
市立市立児童会、福岡市中央
市立児童会と、た
った、子どもたちの
約十八歳、家庭の
て、一九九二年福岡県



立ち見客も出た満席の会場で、堂々と歌った
つばき少年少女合唱団

新聞記事の PR 効果

直近一年間に於ける、337-A 地区「ライオンズクラブ」が新聞に取り上げられた頻度の調査報告
対象新聞社（西日本・朝日・読売・毎日・産経・日経）／対象放送局（NHK・九州朝日放送）

NGO 名 (社会奉仕団体)	新聞 掲載回数	TV (ニュース報道)	記事が掲載される、 一日当たりの平均頻度
ライオンズクラブ	711 件	0 件	1.94 回
ロータリークラブ	631 件	0 件	1.72 回

LC に於いては、実に一日平均2回は、記事になっている現状。

何故？これだけPRされていて、ノンライオンのLCに対する誤認はなくなるのか？

仮に、これから報道各社との深い関係を築いて取材に来てもらっても、我々の意図するイメージは正確に伝えられないのではないかと？

PRに関する事業資金（ザラタ・リジョン誌・クラブ会報・HP等）と、アクティビティに拠出する事業資金は、違う次元で議論されるものではないだろうか？

LCのおかげで「生まれて初めて3人のわが子の顔が見れました」

山本 LCIFは莫大な資金のストックがあるわけですから、それをこっち（日本）に使っていただければどうかと思いますがね。

小金丸 景気が低迷しているとはいえ、日本は世界トップクラスの経済大国ですから、戦後日本の復興期に諸外国から様々な援助を与えられて、今日があるわけです。今の発展途上国の人々に、特に子供達に「網膜腫瘍で子供を三人産んだけど、今まで一度もわが子の顔が見られなかったお母さんがいて、それこそライオンズの（CSFⅡの）おかげで手術が受けられて、はじめて自分の子供の顔が見えました」という感動的な報告を聞きますと、やはり私は国際貢献と地域貢献の両立だと思います。ただあまり極端な金額をLCIFやCSFに持って行くというのも考えものだと思います。

新会員研修会でも講義するのですが「LCって何ですか？」とノンライオンに聞かれて「わかりません」と答えるんじゃないくて「身近な自分達の住む地域社会への奉仕を共通の目的とした善意の人々の楽しい集まりです」と全てのライオンが答えられるようにならないと、いつまで経ってもノンライオンに誤認されるわけです。意義やアクティビティを誇れるようになって欲しいですね。ライオンズバッヂが恥ずかしいとかいって、飲みに行く時は外す人いますよね…実は僕もそうなんです（笑）

徳永 普段から外している人も多いですよ。

マイクロケラトロン導入による献眼推進!!

原 今期久留米大学眼球銀行に、マイクロケラトロンを寄贈させていただきましたが、まだ現物は納入されていないんですが、これはドイツで完全受注生産で作っているものです。目録贈呈だけで終わっていますんで、いつ納入されるか確認を取らなければなりません。マイクロケラトロンが導入された段階で、せめて筑後地区（5R）の地方紙でも結構ですから、福岡県内に角膜移植を待ち望んでいる患者が何人位いらっしゃるのか？しかしライオンズの会員は献眼登録だけはされていますが、実体としてはあまり例がありませんね、それが解決出来る装置ではないかと思います。マイクロケラトロンは、眼球を摘出することなく、角膜移植が出来るということで、目が見えない人達に光を取り戻せる（画期的な）装置ですから、新聞に発表して欲しいですね。ライオンズが地域社会にこんなことで奉仕をしているということを大きくPRしていただきたいです。これがライオンズのPRの最たるものではないですか？

徳永 それは基本だと思います。



マイクロケラトロンの目録を贈呈する原ガバナー



マイクロケラトロン

原 一人でも目に光を求める方のお役に立つことが出来て「ライオンズって凄いなあ」ってことに繋がればありがたいなと思います。目録の贈呈式には手違いでマスコミは来られませんでしたでしたが、納入時には5Rが中心になって盛大にアピールして欲しいと思います。

古賀 次期の三献委員長にマイクロケラトロンを良く理解してもらい、一人でも献眼者が多くなるようにお願いしようと思っています。

原 私も妻と二人で登録しています。どちらが先か分かりませんが、人生最後の奉仕ということで「献眼だけはしようね」と約束しています。ですから会員の皆さんも献眼の意識を高めていただきたいと思います。**これがお金じゃ無い崇高な奉仕というものですよ。**

古賀 人道奉仕としては最高ではないでしょうか？ノンライオンの方々にも呼びかけたら良いですよ。

原 実際の話、年間一、二件しかないんですよ（提供者は）それは眼球を摘出するのをご遺族が嫌がるわけですね。ですからマイクロケラトロンが推進のきっかけになれば良いですね。

古賀 導入費は三百数十万円でしたね。これを我々は

しっかり引き継いで広く啓蒙して行きたいと思っております。

小金丸 後は福岡地区（2R・4R）と北九州地区（1R・3R）に導入すれば県全体で献眼者が増えますね。

「青年アカデミー」って何？世代の溝が深まらないように！！

徳永 是非推進しないといけませんね。それでは質問も終わりに近づいてまいりましたが、単一クラブの活性化・会員増強が現状のライオンズにとって最も重要な課題である事は周知の事実であります。つまり組織力の強化に繋がるテーマとして若手の人材育成は、原ガバナーの仰る通り「ライオンズの命運がかかっている」と思われるのですが、年次大会で可決された「青年アカデミー」の今後の具体的な運営はどうお考えですか？常設委員会としては全国的に（ライオンネット等）調査しても類をみません。これが定着すると本邦初の試みとなります。337-A 地区が活性化して、少なくともリテンションの効果が現れれば、成功事例として全国に波及して行くと思いますが、先駆けとして山本ガバナーエレクトはどうお考えですか？

山本 以前徳永さんが、私の事務所にお見えになった時も申しましたように、若手と年配の間に大きな溝が出来ない様に運営することが大事だと思います。

徳永 それについては年次大会第二分科会に於いて林榮一名誉顧問が、助言者のお立場で以下の様にご発言されました。「LCは、老若男女が垣根なく協力し社会奉仕に突き進む団体だと思います。青年部を悪く取ればかえって垣根が出来る可能性がある」「年寄りの行き場がなくなるので、余程上手に運営しなければならない」「この議案に対して…どなたも発言（質問等）されないのが不思議です」

それに対して高下武見議長（1R・RC）の議事進行姿勢は前向きで、他の方からは特にご質問もないままに『青年アカデミー委員会設立議案』は要望事項として可決されました。私も、もっと反対意見や質問が飛び交うと思っ

ていたので（林名誉顧問が仰ったように）ある意味不思議な感じでしたね。ですから林名誉顧問のご意見はありがたいものと肝に銘じて、運営を心掛けたいと思います。

「青年アカデミー準備会」キック・オフ！！

小金丸 ある程度地区の皆さんに理解していただける形にしないとといけませんから、我々（原キャビネット）も山本キャビネットに引き継いでいかねばなりません。せつかく立ち上げても何も動かなかったなんてことにならないようにしないとといけません。

溝に関する問題は、お互いが意見を主張し合う関係ではなくて、互いの意見に耳を傾けることになっていけば解決するんじゃないですか？

原 私は「青年アカデミー」で決めたこと（各種要望事項）が地区で即執行されることにはならないと思います。田川LCでは、人数が多い（140名超）ものですから、入会10年でようやく委員長ですよ。50代で幹事にになれば優秀だし、会長に至っては65歳から70歳位ですかね。年功序列には非常に厳しいクラブですね。ですから若手が意見を出せる場所はありません。ただ指示されたことをやるだけです。今回の年次大会でも皆さんしっかり…言葉は悪いですけど、訳がわからずに頑張っていたのが現状です。命令された通りにやっただけですから。本当は、事の一部始終が理解出来るようになる雰囲気を作らないといけません。そういう意味でも垣根を超えたお付き合いが出来るわけですから、この委員会は歓迎いたします。しかし「我々の主張が通らないじゃないか」という風になると、前に申した問題（世代間の溝）が発生すると思いますね。

徳永 上手に運営しないとといけませんね（笑）具体的に来期この委員会は“準備委員会”でしょうか？それとも“正式な委員会”でしょうか？

山本 ある程度時間をかけた準備が必要でしようから取り敢えず“準備会”でしょうね。

小金丸 骨子が出来上がったなら、来期一年間の活動スケジュールを山本キャビネットに届け出られて、それでいろいろやってみて、吉田勲第一副地区ガバナーエレクトがそれをご承認されれば、正式に委員会として発足することになるでしょうね。L.吉田勲に取り上げられるくらいの準備が出来れば良いわけですよ。若手の皆さんの動きが、本委員会にもっていけるかどうかにかかっていますよね。

毎年20以上の委員会・400名以上の地区役員が誕生している地区がありますよ

徳永 なるほど。理解いたしました。それから他地区の



中央、高下議長。左から2人目林名誉顧問

面白い事例をご紹介したいのですが、以前サバンナの導入でお世話になりました330-B地区L小柴登司（横浜みなとマリンドック）のお言葉なのですが、「当地区に於いては、毎年20～25の委員会が組織され、今期の場合400名以上の役員（RC、ZC等を含め）が指名されます。常設の委員会もありますが、時のガバナーの運営方針により新しく設置される委員会も少なくありません（当然継続されない委員会も多々あります）貴地区のように「年次大会に於いて青年アカデミー委員会設立要望議案が可決されました」といったことはなく、委員会構成はガバナー（実際にはガバナーエレクト）の専権事項として決定され、年次大会等につけられることはありません。このあたりの部分が、貴地区と状況が異なる部分だと思えます。

また、古き良き時代は別として、当地区では地区役員に対する旅費等の支給はしていません（唯一ガバナーは別ですが…）キャビネットとして地区役員にかかる費用としては、名刺・胸章ぐらいのものです。これは、330複合においても同様です（複合においては議長に対してはほとんど予算が付きません）したがって、委員会設置に対して予算面からの制約がかかるということはほとんどありません。」と仰られています。合理的で進んでいる印象を受けますが皆さんどう思われますか？

原 私も今回の資料を見て「えっ!!」と思ったんですが、私共の地区運営は旅費をカットするとか、そういうことではなくて、「皆さん（全ての役員・委員）に対応する費用に関してはキチント支給しよう」と、「特定の人達が使う分についてはシビアにやろう」ということでした。複合に関しても、議長にのみ国際会長公式訪問やオセアラル・フォーラムの登録料・旅費・宿泊費が支給されていたわけですが「これはおかしいじゃないか!! 一般会員や他のガバナー達は自費で参加するのに議長だけ費用を負担しないのはおかしい!!」といったのですが、納得しないうです。「だいたい何処でそんな事が決まったのか？」と聞くと、ガバナー協議会ですよ。おかしいのは。私達もはじめてそういう組織に参加して「とんでもないよ!!」と訴えましたから、おそらく来期廃止になると思います。「来期からなら、自分は貰えんじゃないか」という方に対して、小金丸幹事が「それは良識の問題でしょう」といなすと「わたしは良識ありません」だって（爆）純粋さに欠けてるよね。私等とは住む世界が違いますね（笑）

徳永 へえー…どんな世界なんでしょうね（笑）

原 ガバナーは国際協会に報告しましたら、全額じゃありませんが年間四、五十万円の活動費が出るんですね。ガバナーだけね。だから国際会長公式訪問の経費なんかは支給されてることになってるんじゃないですか。

「337-A 青年アカデミー」のモデルとなった330-B地区の試み

2005-2006	地区青年部委員会
	↓
2006-2007	青年参加促進委員会
	↓
2007-2008	青年アカデミー委員会
	↓
2008-2009	会員増強・女性・青年参画委員会
	↓
2009-2010	「青年」「会員増強」「女性」がキーワードの委員会

古賀 330-B地区には何年前から「青年」の委員会があるんですか？

徳永 330-B地区には「青年」が冠された委員会は、2005～2006年度（阿部英明ガバナー）に、期の途中で地区に「青年部」という組織がクラブの垣根を越えて50歳未満の会員相互の親睦を図る目的で作られたらしいです。それから現在に至るまで特設委員会として様々な名称が変わりながらもモデルとなった委員会が存在しています。歴代ガバナーの会員減少に対する危機感が強かったみたいですね。委員会一つ増設するにも何ら障害の無い地区ですね。地区に20いくつも委員会があればあたりまえでしょうし、約5,300人（191クラブ）の会員のうち400名も役員・委員が選任されるわけですから、自然と地区内の交流は活発になりますね。名称は毎年変わっていますが、**歴代ガバナーが前任者の遺志を引き継いでいることにも注目されますね**。毎年委員会の名称が変わっても、基本となるキーワードは「**青年**」「**会員増強**」「**女性**」だそうです。

小金丸 ガバナーの専決（専任決済）事項で委員会はいくらでも出来ますからね。

古賀 任期はどうなりますか？

徳永 330-B地区は正式な委員会ですから任期一年でしょう。我々337-A「青年アカデミー」は、地区の委員会として発足しましたら、当然役員・委員の任期は会則に則って一年制ですね。但し新しい委員会ですから当初の世話役の方々や、はじめの頃の役員・委員の皆さんには当分の間、関わりを持ってもらおうと考えています。一年交代で「ポイッ」じゃなくて、過去のどの委員会を見ても継続性に欠けるものが多いので…しかし委員会の対象要件（年令50歳未満又はライオン歴5年未満）から外れればオブザーバーという形の参加になると思います。それから元々対象要件外の先輩ライオンの皆さんに

も講師やオブザーバーとして自由に出入りしてもらって幅広い交流が出来れば理想的だと思っています。『来るもの拒まず』ですね。

また「青年アカデミー」の役員・委員その他の世話役は、原則として経歴不問にしようと思っています。過去の地区の人事の矛盾は踏襲するべきではなく、戦国末期に織田信長が断行したような（門閥・経歴）に捉われない能力主義的な人材登用を行うべきではないでしょうか？

原 私共の田川 LC のような大人数のクラブの会員が外に出て、他所のクラブと交流することは非常に少ないんです。田川 LC の会員が諮問委員会に出席出来るような立場になるには十数年かかりますよ。それが皆さんと様々な交流をして意見交換をして、他所の知識をクラブに持って帰ることが出来れば、私は素晴らしいことだと思います。

徳永 そういった意味では大きなクラブにとっても役に立ちますよね。もちろんミニクラブの活性化も充分期待出来ると思いますが。

原 ただそれが「俺達は、あんた達よりうんと勉強してきたぞ」という態度をクラブでとると、先輩ライオンの反発を招きますから、そのあたりは勉強する側の人格や、クラブの受け入れ態勢等の問題も現実にはあると思います。何れにしても、何もしなければ何にも変わりませんから。



キャビネット事務局で、ラフな服装で「ふくおか2R」の取材に答える原ガバナー（右手前、佐竹キャビネット副幹事）



右端、徳永2R地区PR・IT・ザラタ編集委員

『未来のライオンズにかける夢』とは？

徳永 そこは気をつけないといけませんね。「あくまでも地区の一委員会ですよ」という認識を持っていないといけませんね。

最後に、未来のライオンズクラブに向けて皆さんは何を提言されますか？一言でまとめていただきたいのですが？今回の対談のテーマは『ライオンズにかける夢』です。

山本 私から良いですか？

徳永 どうぞ。

山本 慣習にあまり捉われずに、はっきりと責任のある言葉を言えるリーダーシップの育成が必要じゃないかと思います。

徳永 それは、素晴らしいですね（笑）人材育成ですね。古賀次期幹事はいかがですか？

古賀 次期は私も基本方針にリーダーシップ育成を挙げております。ライオンズのマンネリ化を打開するには、やはり教育じゃないかと思います。

徳永 「青年アカデミー」の主旨と合致しますね（笑）

古賀 はい。あなたがいつであったこと（若手の教育）は大事なことだと思います。基本ですねこれは。

徳永 私も勉強させていただきます。小金丸幹事は如何ですか？

小金丸 過去の踏襲は減らしていけないといけませんね。良いものは（踏襲）しても、疑問に思うことは（踏襲）しない。ライオンとしての真価を皆が發揮して行こうと…自分で考えたものを実行していける。そういうライオンが増えていくことを期待したいですね。人の顔色見ながら活動することもしたくないし、本当にクラブや地区の為になることが基本ですから、それをお願いしたいです。

徳永 ありがとうございます。小金丸幹事には是非「青年アカデミー」の講師として常駐してください（笑）最後になりますが、原ガバナーお願いいたします。

原 未来に向けて…なかなか言葉が見当たりませんが、私は事に当たりて“損得よりも善悪を優先して”物事を決断して来たつもりですし、そのスタンスで地区運営に臨みました。LCも「損得じゃない、目的達成の為に、人様のお役に立てるような組織だ」という気持ちをそれぞれのメンバーに持っていただきたいと思っています。

徳永 来期、原ガバナーは、地区名誉顧問会議長であらせられますので…

原 …あらせられるって…

一同 （大爆）

原 辞退しますけどね。遠慮しますということで（笑）

小金丸 あれ？（山本ガバナーエレクトは、原ガバナーに）委嘱（地区名誉顧問の）されました？

原 いやいや委嘱されてないでしょう。一時期、古賀次期幹事のご配慮で瞬間的になったけど、あれはあくまで間違いですから（笑）ですからまだ辞令はいただいておりませんし…

古賀 無理やりにでもなっていたかかないと…（困るんですよ）

矢野 本日は皆さん長時間に渡りいろいろお聞かせいただきありがとうございます。皆さんこれから健康に留意され、ご活躍されんことを祈っております。本誌は7月初旬にはお届け出来るかと思しますので、楽しみにご期待いただきたいと思います。



YCE 帰国報告会での、キャビネット三役と山本地区 YCE 委員長（現ガバナーエレクト）



原ガバナーの会員への“愛”を感じさせるご挨拶



キャビネット会議に於いて、地区名誉顧問の方々に囲まれて挨拶される原ガバナー



年次大会の司会をする小金丸キャビネット幹事



笑顔の原ガバナー

「地区第2回新会員研修会」

報告者 2R・PR・IT・ザラタ編集委員 L. 徳永修一郎



2008～2009
キャビネット幹事
L. 小金丸滋勝

その出会った多くのライオンから『Mr.ライオンズ』と称され、また『歩く必携』との異名も持つ、小金丸滋勝キャビネット幹事が講義した「地区第2回新会員研修会」は、去る5月26日に、飯塚市のがみプレジデントホテルで開催された。

地区約100名の新会員を前にした小金丸滋勝幹事の印象は、一見“破天荒で男気の強い『パットン小金丸』”だと思えるのだが、敢えて私は、

「作戦立案能力」「戦術」「攻撃力」のステータスが極めて高く（しかも知略と騎士道精神のスマートさを感じさせるので）複雑な機甲師団（キャビネット）を統括出来るタイプの『ロンメル小金丸』と呼ばせていただきたい…因みに今期一年間の私のモットーは“称賛を惜しまず”である（^o^）

以前、原吉徳ガバナーが「今期地区の重点施策でもある、新会員研修の充実にはLCの命運がかかっている」と述べられていた経緯もあり、今回も特別に出席させていただいた（…しかし前回同様、数人予定者がいたはずの我クラブ*福岡大名LCの新会員が一人も参加してなかったのに愕然としつつ…）のであるが、キャビネットの威信と面目をかけて実施した今回の研修会は、プロジェクターを駆使しながら視覚的にも面白く、内容も要領良くまとめられてあり、敢えて参加者に資料を渡さず、聞き手が必要と思った事柄のみ、メモ用紙に筆記させた形式には感心した（眠気防止の効果がありますね）。

研修内容はLCの存在意義や言葉の本質（アクト【行為】はロータリー用語、ライオンズはアクティビティ【活動】等）実在的を得ていて、様々な場面で、クラブ三役とクラブ会員委員長が出席した「ガバナー公式訪問懇談会」の内容と一致した。つまり各クラブの代表者達に話した事と、今回の新会員に講義した内容が同じな訳で、今回の研修は新会員のみならず、会長はじめ全てのライオンに再認識していただきたいLC

の本質を衝いた研修会であった。

また今回は、ライオンバッチを携帯して来てなかった7名の参加者に対して（一喝するどころか）ガバナーピ



バッチを忘れて、特別に原ガバナーの“ガバナーピン”を贈呈される7名の新人

ン（バッチ）をプレゼントする粋な計らいもあり会場を和ませる演出も効果的であった。

関連して、ライオンの三種の神器（①ライオンズ必携②メンバーシップカード③ライオンバッチ…①③は各種LC会合には必ず必要）の説明もなされた。

具体的な研修内容としては、思いつくままに列挙するが、小金丸幹事自身がLCに入会した当初から抱いていた疑問点を総括して分かり易くまとめられた様だ。キーワードは『ライオンズを楽しく』と言う事だと思う。

最初に入会の意義から始まり、ライオンズ（単一クラブ平均33.5名）とロータリー（同平均42.5名）の違い、歴史やロゴマーク・規模等組織概要の説明、複合地区と準地区（キャビネット・リジョン・ゾーン・運営及び事業委員会）等組織の説明等々盛り沢山であった。また事細かにも会員一人一人が国際協会や地区に拠出する費用明細も説明され、原キャビネットの公金の取り扱いに対する真摯な態度が伺われた。

けだし名言と思った言葉をいくつかご紹介するが…「（ノンライオンに）一言でライオンズを説明するには…身近な自分達の住む地域社会への奉仕を共通の目的とした善意の人々の楽しい集まりです…と答えられるようになります」

「ライオンズを楽しむためには、先ずはルールを理解すること」

「会則は組織が発展する為にあるものであり、守るためのものではない」

「奉仕とは“人の為にしてやっているんだ”と思いつけ、人間誰しも自分が頼りにされている存在である事に生き甲斐を感じて欲しい」

「クラブに所属して、そのクラブが事業して、そのアクティビティ（社会奉仕事業）が人様のお役に立っている



PC（パワーポイント）とプロジェクターを駆使した、視覚的にも分かり易い小金丸キャビネット幹事の講義

事で、会員が生き甲斐を感じる事が出来る団体がLCです」

「LCは、決してお金と暇を持て余している人達の集まりではありません」



熱心に講義に聞き入る新会員の皆さん

「会員にはクラブ

に入会する権利があり、例会には絶対的に出席しなければならない義務があります」

等が挙げられる。

そして今回圧巻だったのが、以下の「ライオンズ道徳綱領」の解説であった。

☆**職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。**

ライオンである為には、先ずこれを第一義に心がけてください。後ろめたい事（仕事）ではなくて、正々堂々と仕事をしましょう。

☆**事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。**

これもライオンとしてあってはならない事だと思います。

☆**事業を遂行することにあたっては、他人の事業を妨害しないよう心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。**

他者と取り決めた約束は誠実に守りましょう。コンプライアンス（法令遵守・公正・公平）を守るのがライオンの努めですよ。

☆**世人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。**

これは何事も自分本位に考えないという事です。問題が発生した時は、一度自分を第三者の立場に置いて、自分の行動を振り返る事が出来る人がライオンですよ。

☆**真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。**

（仕事にプラスになるような）自分の求める人と出会った時、それを目的として友達になるんじゃないくて、ライオンとして友達になれば、ビジネスチャンスも生まれます…入会目的は販路拡大でも結構だが、手段としては使わないでください。友情を持つ事が目的です。

☆**国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。**

これは、当り前の事を常識的にやりましょうという事です。

☆**不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人に**

は私財を惜しまないこと。

これは非常に難しいですが、努めて心がけましょう。

☆**批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。**

私の最も好きな言葉ですが…人の批判をする事は簡単な事です…そういう方は、沢山いらっしゃいますが…でも一から物事を組み立てて、一生懸命された方というのは、やっぱり大変ですね。批評というよりも（相手の気持ちを考えた）謙虚なアドバイスが必要ですね。一つでも（相手が）素晴らしい事をすれば、素直に褒めてあげる気持が大事ですよ。そうすれば人から嫌われませんよね。むしろ周囲の皆さんから尊敬されるでしょう。それから何事も「これはダメ」「あれはダメ」という後ろ向きの意見じゃなくて、前向きに事が進む努力をしましょう。どんな事でもポジティブ（ネガティブじゃなくて）に物事を考えていきましょう。

総括して…「道徳綱領はもっとクラブで説明して欲しいですね。これが全てマスター出来れば、自ずとご商売も成功することでしょう」

研修会の最後に、小金丸講師はこの様に締めくくられた。

「クラブを健全に運営（元気があるクラブ）する事とは、参加する全ての会員の皆さんがクラブ活動に対して、違うと思った事・疑問に感じた事はどんどん意見を言って改善するべきだと思います。オカシイと思ったまま黙っておくのではなくて、クラブを良くしようと思うのなら自分の意見を述べる事は重要ではないでしょうか。ライオンズライフが楽しければ人を誘う。その善の連鎖で皆が幸せになると言う事だと思います」

「私にとって、ライオンズに入会して一番良かった事は、多くの人々と知り合えた事です。本日集まっていた皆さんは…ひょっとするとこの中から、皆さんの人生にとって、大切になる出会いがあるのかもしれない」

いつも様々な場面で、キャビネットのお話を伺いつつ、私も末席に連なる者として感じる事なのであるが、原ガバナーをはじめとする執行部（キャビネット幹事・会計・副幹事・副会計）の皆さんは、任期の最後まで生き生きとしていて“情熱と行動”により地区の会員に答えられている様に思えた。

今期の新入会員は幸せである。

※エルヴィン・J・E・ロンメル（1891 - 1944）

ドイツ陸軍の軍人。元帥。第二次世界大戦に於ける活躍で知られる。砂漠の北アフリカ戦線に於いて巧みな戦車部隊と歩兵戦術により戦力的に優勢なイギリス軍を度々打ち破り、英首相チャーチルに「ナポレオン以来の戦術家」とまで評された。数々の戦功だけでなく、騎士道精神に溢れた行動・多才な人柄・ナチス党員では無かった事などから、当時のみならず現在でも各国での評価・人気が高い将帥の一人。

※ジョージ・S・パットン Jr（1885 - 1945）

アメリカ合衆国陸軍の軍人。大将。第二次世界大戦に於ける活躍で知られる。北アフリカ戦役・イタリア戦役・ノルマンディー上陸作戦・ロレーヌ地方進撃・バルジ大作戦等により数々の武功を立てる。北アフリカに駐留していた米軍を、着任早々厳しい訓練を行い、立て直した事は有名で、米将帥史上最も軍人らしい軍人。ジョージ・C・スコット主演の映画「パットン大戦車軍団」でも知られる。

「今年度(2008～2009)を振り返って」

1R・RC L. 高下 武見



一言で言えば目まぐるしい一年であった様に思える。

永遠のテーマである会員増強に関しては、諮問会議で何度も意見交換して、一人でも多くの会員を増やす活動を地道に進めて3月末現在で会員数822名(期首783名)と期首比

で39名の増員を実現しました。

退会を防ぐための活動も併せて行うことで、39名の純増を成し遂げることができたと考えております。

今から6年前に1Rと2Rが一つになったという状況下、組織の意識を統一し、結束を高めることを目標の一つに揚げておりました。

今年度は、毎年開催していた1R親善ゴルフ大会、1Rボウリング大会、及び合同幹事会に加えて、多くの市民が積極的にサポートをしている「到津の森公園」の支援団体として、新たな事業に取り組みました。

それが秋に開催したファミリーデーのコンサートと、春分の日に実施したチャリティバザーです。

2つの新しい企画には大勢の方に参加していただき、成功裡に終えることができたことは、クラブ会員の全面的なご協力を得た結果だと感謝いたします。

これ等の事業を成功に導いたことにより、今年度は「到津の森公園」へ、450,000円の支援をすることができました。

素晴らしい実績を上げることができたことは、特筆に値することだと思っております。

青少年育成については、伝統ある北九州八幡レオクラブを、L丹生谷地区レオ委員長をはじめ関係ライオンのご尽力により、レオクラブメンバーを倍増するという偉業を達成することができたことは、誠に喜ばしいことです。

また、2Zの北九州小倉LCが地域の学校との連携を深める活動を展開したことにより、活動を長い間休止していた北九州小倉平成レオクラブを活性化することができたことも、明るいニュースとして記憶に刻まれることの一つだと思っています。

今年度は、リジョン内の周年行事が相次ぎ、9クラブが盛大に式典を挙行されました。周年をステップに各クラブが更に大きく成長されることを願うばかりです。

今年度後半で一番頭痛の種が副地区ガバナーの選挙でありました。リジョン内に於いて副地区ガバナー候補として2名の立候補があり前例が無く未経験の私には大変な試練でありました。

最終的には選挙で決定、その際に和田・榎本両名誉顧問に大変なご苦勞をおかけしました。厚くお礼申し上げます。

この1年を振り返りますと、ZC、地区役員並びに多くの会員の皆様の温かいご理解と献身的なご協力により、基本方針に沿った様々な事業を実施する中で、多くの成果をあげることができたと思っております。心より感謝申し上げます。

3R・RC L. 村田 英昭



3Rライオンズクラブの皆様方には一年間大変ご協力頂き厚くお礼申し上げます。

思えば、昨年(2007)の5月より準備キャビネットを開催して以来一年間大変忙しく、第55回地区年次大会まで3R各クラブの会長さん他、キャビネット役員一同と共に頑張っており、大成功に終わりました。この紙面をおかり致しましてお礼を申し上げます。

原ガバナーの下で3R公式訪問をこなし、各クラブの活性化を議論し、愛ある奉仕に向かってまいりました。また、3人のゾーン・チェアパーソンには大変各クラブを御指導頂き会員数も年度末に向けて、+1の純増をめざしております。

事業においては、7月にレオの英彦山キャンプ、11月にはスペースワールドで楽しいひと時を過ごしました。

YCE事業には、中間、川崎福岡、穂波の各クラブに受入をしていただき厚くお礼申し上げます。

年次大会では、3R19クラブあげて実行委員会を作り、各クラブごとに役割を決め、4月19日の第55回の大会を大成功に終わらせました。前夜祭、後夜祭と楽しい韓国の355-G地区の皆さんと懇親を深めました。

本当にありがとうございました。

今後も、337-A地区の発展とさらなる飛躍を祈念致しましてお礼と感想の言葉とさせていただきます。

4R・RC L. 藤井 勝彦



ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区、第四回のキャビネット会議が盛大に開催されますことを心からキャビネット一員としてお慶び申し上げます。

特に今期のキャビネットガバナー L 原吉徳、幹事 L 小金丸滋勝、会計 L 竹志田勝の下にキャビネット構成員の皆様方にご協力戴き大変感謝申し上げます。

前期は 4R・1Z～4Z・ZC のご協力を戴き、4R の 25 クラブのクラブ訪問を計画し、ZC のご理解とご協力の元に全クラブの例会訪問を致しました。各クラブ会長を始め会員の皆様より温かいおもてなしを受け新しいライオンズメンバーとの出会いもでき、有意義であったと思っております。

又、クラブ運営についても歴史あるクラブの例会に参加できて、大変参考になることも多くあり、4 名の ZC も自分達のクラブに持ち帰り理事会及び例会にて取り入れることが出来ました。

又、香港での東洋・東南アジアフォーラムでは、4R・4 名の ZC や多くの 4R の会員と楽しいフォーラムの参加も出来ました。

その後少しずつ体調を崩し、持病である心臓の調子が悪くドクターストップにより年次大会も参加することができず残念で申し訳なく思っております。なお、RC 最後迄まっとう出来なかった事 4R の名誉顧問の皆様にご詫言申し上げます。

一日も早く療養して、皆様と一日も早く会える日を楽しみに今は療養に専念することに致しました。

最後になりましたが、皆様にも健康には充分ご留意されますようお願い申し上げます。

追伸：皆様方にご心配をお掛けしましたが、現在療養に頑張っております。5 月に入り天候にも恵まれ体調が少しずつ良くなり、対馬にて行われます最後の第 4 回諮問委員会には出席できるよう努力しております。

皆様方と会える日を楽しみにしております。

リジョン・チェアパーソン 活動の思い

5R・RC L. 中澤津留一



ガバナーの『愛』人類愛、郷土愛、家族愛のテーマを 5R22 クラブに浸透させる事、1 クラブ 1 名の純増、次期キャビネットがスムーズに船出出来る環境作りが務めの 1 年でした。

『愛』についてはガバナー自ら公

式訪問、クラブ周年行事等で訴えられましたので十分に浸透されたと思っております。

会員増強については、減少に歯止めが掛からない状況で、他リジョンの足を引っ張る結果になりました。然し、A 地区で 2 番目の会員を擁するリジョンです、1,000 名を割りましたが奉仕団体の先駆者として努力を積重ね、誇りを持って L 字のバッヂをつけ奉仕団体のリーダーとなり、魅力ある組織に成る事で仲間も増えるのではないのでしょうか。

さて、5R で一番新しいクラブが今期 10 周年を迎え盛大に記念式典が行われました、安定した 5R ではありますが、果たしてこれで良いのか一抹の不安も感じられます。

アクティビティに付いて、5R で代表的な身障者バスケット大会は、歴代ガバナーが観戦される大きな大会になりました。

荒廃した風倒木跡地への植栽事業等は今後地域を越え、新たに参加するクラブが見込めるアクティビティになるかと思われます。

前期申し送り事項となったマイクロケラトロンを、久留米地区アイバンク協会に寄贈する事が出来ました、地元の 5R としてどんなお手伝いが出来、また活用出来るか検討頂きますようお願い致します。

命題であります、次期キャビネットの船出、キャビネットよりの役員の方の要請に、クラブ会長始め名誉顧問、ZC、地区委員長のご努力によって順調に進み早々に推薦することが出来ました、ご指導ご協力頂き感謝致します、特に ZC には大変なご苦勞をお掛け致しました、重ねて御礼申し上げます。

最後に会員の減少が気になりますが、経済環境が向上すればおのずと落ち着いて来るのではないのでしょうか、無理をせず誇れる LC に成るよう祈念し、報告をかねてお礼のご挨拶と致します。

ライオンズクラブ国際協会

337-A 地区 1R・2Z・ZC L. 瀧上 忠男



地区 PR・IT ザラタ編集委員長 L. 矢野 誠から今期発行するザラタの原稿依頼を頂き、さて何を書いたらいいのか戸惑ました。

まさか老齡の私が推挙されるとは思っていませんでしたがクラブからの要請なので最後のご奉公をさせていただきますこれまで 33 年間お世話になってきたライオンズクラブに恩返しの一環でもできればと心してお引受けいたしました。

一年の任期も 6 月 6 日・7 日の複合地区年次大会と 6 月 15 日の第 4 回諮問委員会を含め残り一か月余となり光陰矢の如しを痛感している今日この頃です。

僭越至極な文章になるかもしれませんが現在までを振り返って思いつくままを記述させて頂きたいと存じます。

担当は1R・2Zの5クラブで、第三回諮問委員会現在(2月)の会員数は約250名です、この状況は期首から増減を繰り返しながらもほとんど変化がなく安定していると認識しています。

今期1Rでは2Zの北九州小倉LCと北九州小文字LCの2クラブを含め9クラブの周年式典があり私は都合で6クラブしか参加できませんでしたが夫々LC毎に素晴らしい演出で式典を挙行された事が印象に残ります。

そして2Zの5LCは夫々独自の継続事業に弾みをつけた活動を展開され年次大会で素晴らしいアワードを受賞されました事のご同慶の至りで敬意を表します。

私はクラブ単位による地域に密着したアクティビティこそが真の奉仕活動だと認識しています、故にゾーン単位のアクティビティは全く考えませんでした。が今期は高下RCの用意周到なご提案によりリジョン単位で運営に困窮している到津の森公園を支援する事業を二回に亘って実施いたしました。が2Zの5LCはこれにご理解いただき初期の目標を達成することができましたことは私の最も感激感謝いたすところであります。

浅学菲才の私をここまで支援ご協力下さいました出身クラブの北九州小倉LCはもとより北九州勝山足立LC、北九州小文字LC、北九州シニアLC、北九州小倉東LC各クラブの会長・幹事・会計の三役他の会員諸兄姉の皆さまに心から感謝申し上げ次期キャビネット関係の皆様&337-A地区に所属するクラブのご発展と会員諸兄姉のご健勝を祈念申し上げまして1R・2Z・ZCとしてお礼のご挨拶とさせて頂きます。

2009年5月12日記

1 リジョン3ゾーンの現況について

1R・3Z・ZC L.西明 義晃



ライオンズクラブ国際協会337-A地区福岡2RのPR誌、No.105号の巻頭インタビューとしてガバナーL原吉徳の談話が掲載されています。「クラブの会員数について事業をするためには少なくとも30名は必要ではないでしょうか」と申されています。「公式訪問した北九州ルネッサンスLCは13人、門司LCは27人、門司LCは平均年令73歳と聞きましたが、いくら長寿社会といっても、あと10年したらどうなるのか?」と御心配を戴いています。「数は力である」とも指摘されました。でも思うように会員増強は出来ていません。北九州門司LCが結成された50年前、北九州東LCが結成された45年前には門司鉄道管理局という巨大な企業がありましたが、福岡に移転し、更に国鉄

は民営化されました。その他の大企業も福岡の方に移転しました。海運業も輸送はコンテナに変わり、港湾は寂れてしまいました。人口の流出、少子高齢化による過疎化が進みました。このような社会情勢の中では会員増強は大変きびしいものがあります。2RのPR誌No.107号には、「ライオンズクラブ変革論」と題して、L.鳥谷哲弘はミニクラブは勇気ある合併を真剣に検討すべきと申しています。ライオン誌、第50巻第9号にも、「会員増強より合併を」と題して、L.横山静は我国の経済状況からみて、富が都市部に集中し、地方は疲弊している。都市と地方の格差が広がり、中小企業や個人商店は衰退している。これでは会員増強は致命的であると指摘しています。最近16ヶ月間のライオン誌を調べますと、新結成クラブは34、合併又解散クラブは51クラブとなっています。残念ながら合併又解散クラブが多い傾向が窺えます。簡単に合併と申しても、各々のクラブの伝統や財産、価値観の相違など諸々の問題があります。合併によりゾーンのクラブ数が少なくなれば、地区役員のローテーションに支障が生じ大変困ったことになります。1R3区の会員増強、若変えりを真剣に考えなければなりません。ライオンズクラブを不滅のものにしなければなりません。以上私見です。

1R・5Z・ZC L.岩田 勝



1R5ZはZC業務の非常に重要で多忙な組織になっていると感じました。

1.「5LC合同事務局」…非常に良く出来る職員3人の女性がいいます。

ZCは職員の勤務環境の整備・健康管理・IT機器の整備・防災上の注意、キャビネットへの報告の指示等々です。各事案には各Cからなる管理委員会を開催し、決定し運営します。

管理委員皆様の協力を戴き無事スムーズに運営出来たと感謝申し上げます。

2.「5LC会長幹事会」も各月開催ですが、非常に伝達・親睦など意志の疎通が迅速に図れ5Zの誇りとする組織であると思いました。翌月開催日、時間、場所、予算、議事録作成者等持ち回りで開催し、今期、各C会長・幹事皆様は協調性に優れ、ライオンズクラブの普遍的テーマである会員増強等に協力戴き20人の新会員確保、この一年の最大の感謝であり良き友人に巡り会いました。

3.5Z主催各種アクティビティは薬害防止始め、地域と密着した清掃奉仕と献血活動、地域行事への参加です。ローテーションを定め、5LC持ち回りとしませんが、単一クラブのアクティビティは今期特に資金獲得など各クラブ会員皆様の努力を強く感じました。

今期は、5Zより1RCが選出されたため、全ての1R

主催行事のホストが5Zに来ました。「4・5Z ガバナー公式訪問例会と懇談会」。「1R 親睦ゴルフ大会」では初めてショットガン方式を採用。

私の所属クラブが45周年準備の中、会員皆様へ多大の負担をお掛けし148人参加21クラブ旗掲揚、時間通りに終了し、例年懸念された表彰式も多くの参加者でにぎわい目的を達成しました。

又、賞品を提供頂いた〈スターフライヤー社（東京往復券）〉や開催ゴルフ場と参加頂いた1R会員、所属クラブ会員の皆様に本紙をお借りし厚く御礼申し上げます。

4. 創立40周年、北九州八幡レオクラブ再生は今期の命題でした。学校法人折尾愛真学園理事長・教頭・担当教諭のご支援を得て、一步前に進むことが出来ました。今はひよこですが、それは将来に向けての大きな一歩となるでしょう。ライオンズライフの中で大きな思い出となりました。

次期ZCはレオクラブへの思いの深いLですので更なる飛躍を期待いたしています。

年次大会も盛況に終わり、今は肅々と引き継ぎに専念しています。長いようで非常に短い1年だったナー。なにか役に立ち・残す事が出来たのかナーと悔やまれるこのごろです。

それにしても素晴らしい原ガバナーを始めキャビネットの皆様、知己を戴いた各RC・ZCそして5Z会員の皆様に感謝の意をお伝えし、この1年の熱き充実した思い出とさせていただきます。

感謝

2R・2Z・ZC L. 重松 史郎



ゾーン内での会議、委員会に参加して、いつも議題に上るのが「会員減少」です。虚しい思いになるのは皆さんも同じだと思います。会員が減少していく要因にはいくつかあると感じました。

① 経済情勢の悪化による節約志向。

② 組織の機構に対する不満。

③ 奉仕をしているという実感が稀有。

私は、この3つを会員の意見として感じました。会員の募集については、広告宣伝のやりかたなども随分意見として出ておりました。でも多くの会員の心にあるもので、活動意欲を損なっているのは、やはり会員の「誇り」です。ライオンズクラブに所属して「奉仕」をしながら社会のためになっている、という気高さが今ではもう薄らいでいると思います。

質のあるライオンズらしい活動ができる組織作りを皆

で考えていかなければならない時が来ているという感がしてなりません。

さらに、私見になりますが会員の「意識」を変えるのは会員の増強の在り方にあるように感じます。際限なく会員の数を上げる増強策はクオリティの劣化につながります。誰もが、一人でも多く連れてきて入会させることが命題になってしまって、とにかく入会させることに専念する傾向にあります。組織に馴染んでくれそうな資質を選ぶ「人選能力」こそが一番大切なことだと思います。入会しても「数の原理」によって入ったことを感じて、がっかりする新入会員。そしてすぐ退会し、不満を持って他に不評を発することは、もっとも避けなければならないことです。

クラブの運営費については、なんとか知恵を絞って方策を考えていくべきでしょう。

各クラブに「定員制」を定めて、会員のクラブに対する「帰属意識」を高めることが、退会防止につながり、さらには皆で何かをやろうという団結心にも繋がると思っています。1人減ったら1人を皆で慎重に採って責任もって補充する。そんな空気を作っていったら意識も変わってくるでしょう。

私は、この役職を通じて、会員の多くが同じ気持ちになっていることに気づきました。

ライオンズの発展を願いながら、残された期間を務めていきたいと思っております。

今期、原ガバナーの元、キャビネットの皆様のお陰をもちまして楽しいライオンズライフを送ることができました。本当に感謝しております。ありがとうございました。

2R・3Z・ZC L. 青木 妙子



緑のまぶしい季節になり、そろそろZCも卒業間近になって参りました。昨年の7月福岡空港にYEの派遣生見送りが、はじめての仕事だったと思います。

8月からはガバナー公式訪問がはじまり2R全て出席しました。またZCの仕事のひとつ、クラブ訪問で3Z内7クラブ訪問、どのクラブも楽しい例会をこころがけ会長、幹事さん共に現在の会員増強の難しい中、退会者を出さないように各クラブ努力されているようでした。

今回キャビネット会議が飯塚でしたので4RのZC・L. 西のおかげでいつもL山北の車に同乗させていただき本当に助かりました。おかげで4Rの方々とも親しくさせて頂き又2RのL小松RCをはじめ4人のZCとの関係も良く楽しく役目も終りそうです。

L原ガバナーをはじめ沢山のライオンの方々との出逢いこれこそライオンズの素晴らしさだと思いました。



今期、3R からの原ガバナー誕生に伴い 3R が総力を結集し、原ガバナー提言『愛』をテーマに地域に密着した「We Serve」の展開をめざしての一年間でした。20 年 6 月 6 日の 3R 地区役員引継会をスタートに 7 月 18 日第一回キャビネット会議での原ガバナーの「近年の会員減少傾向に、原因を究明分析した取り組みで『力は数なり、数は力なり』ライオンズは数の力を発揮して行かねばならない。クラブ運営が良くなるためにも、心のこもった運営で活性化をめざしたい。」旨の熱い思いの決意が表明されました。

ZC としての、3R 村田 RC の力強いご指導のもとクラブ活性化（会員増強）への取り組み、Z 内の連携強化で会員等の交流と友好を図ることに Z 内のクラブ会長・幹事さんの意欲あるご協力で大過なく一年を経過しました。

特に、ZC の訪問例会では、最初の宮若 LC は 7 名の新会員の入会式で盛り上げて頂き、直方 LC・中間 LC・鞍手 LC 等全ての Z 内各クラブが新入会員を迎えての訪問例会には大変な感激をうけました。Z 内のアクティビティは、ライオンズデーでの遠賀川流域の清掃活動等を Z 内挙げてのウィサーブ、奉仕の心に通じる取り組みを、Z 内ゴルフ大会、雨の中のパークゴルフ大会等親善の集いもありました。

更に、YCE 事業では、夏期に鞍手 LC、宮若 LC で、冬期には中間 LC のご協力でアメリカとマレーシアから 2 名の交流生を受け入れることが出来ました。

私ごとでは、昨年 11 月に食道ガンの洗礼をうけ、食道全摘・胃管再建の大手術で一月余りのリタイアで会員の皆様に大変ご迷惑をかけ健康のありがたさを再認識させられました。

第 55 回地区年次大会も盛大に運び、4 月 21 日宗像市グローバルアリーナでの 3R-1Z 合同花見例会も鞍手 LC ホストのもと各クラブの多様なアトラクション等で盛大な催しとなりこの一年を締めくくることができたと感謝感激の尊い経験を得ることとなり会員の皆様に心からお礼申し上げます。



薫風緑樹の季節と成り藤の花だよりに始まり、博多どんたくに続き町や村での神幸祭や山開きと正に初夏を告げる時、2009 年 4 月 19 日ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区第 55 回年次大会が青天の下で 3R19 クラブ会長始め会員の皆様の絶大なる御協力を賜り又原ガバナー所属の 2Z、田川ライオンズクラブ会長始め実行委員会の皆様の英知と行動力に支えられ第 55 回年次大会が瑕疵もなく田川の地に於いて期待した以上に大成功に終る事ができました。3R-RC、L 村田英昭と共に関係各位を始め、各クラブの会員の皆様方に深く感謝の気持ちを込めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

次に 3R-2Z-ZC としての活動に付いては自身のライオン歴 20 年を振り返り、この一年間は 2Z は勿論、3R に至る迄訪問させていただき ZC として 150% の活動と共にライオンとしての勉強をさせていただきました。これも偏に RC 始め 2Z 6 クラブの会長、幹事、会員の皆様のご協力のおかげと感謝至しております。又私の運営方針の一つであります会員増強と退会防止に努力してまいりました。結果はでた物と思っています。会員増強と退会防止は国際協会を始めライオンズクラブの永遠のテーマだと私は強く思っています。

続いて一年間の思いを自由にお書き下さいとの事で私の私見として少し述べさせていただきます。先ず日本国旗についてライオンズクラブの会員としてどのように認識しているか、国民の祝祭日が一年間で正月 3 ヶ日を入れて 18 日有ります。私は数年来 R・Z 内を祝日に車で巡回しながら会社や各戸の玄関に国旗が立っている家を希れにしか見受けられません。私は実に空しく、淋しい思いが致します。ライオンズクラブの活動に於いて、例会を始め周年行事や大会や会議に於いて国旗や、国歌の取扱いについてプロトコールにも示されているように扱い方次第では国際問題や外交問題にも発展しかねない国旗であると思う一人であります。日本人として、又ライオンとして誇りを持って国を愛する心を今一度深く考えて見る事も大切ではないかと思う次第です。先ず家族に於いて、又ライオンズクラブの事務局会館に於いては、クラブの幹事が責任を持って国民の祝日には国旗を掲げてはどうだろうかと思ひます。

4R・1Z・ZC L. 加治 接執



私達4リジョンは藤井RC、1Z 加治 ZC、2Z 山北 ZC、3Z 西 ZC、4Z 平山 ZC の計5名で4リジョンの25クラブ全部の例会訪問をする約束をしました。4Z (旧6R) との融和を図るとの強い決意を持って実行致しました。1Z～3Z は市内型、4Z は地域密着型と形態の違いは有るものの色々な人に出逢えて、新しい親交が出来3年前の地区 YCE 委員、1年前の地区レオ、ライオネス委員として元委員長や役員や留学生の受入れをしていただいた。

ライオンズメンバーに再会をして親交を深め楽しい例会訪問でした。

また、香港での東南アジアフォーラムで多くの出会いが有り楽しくライオンズ活動が出来うれしく思っています。1Z の ZC としてガバナー諮問委員会ではライオンズクラブの年会費と入会金の各クラブの違いを聞いて、今から新入会員を募集したり、退会防止を行うには、今までの交際費あつかいでは無く税制上の優遇制度が受けられるよう次期国際理事の不老ガバナーに既に依頼しております。日本レベルなのか？西日本レベルなのか？又は福岡だけでも？新しい法人作りをして優遇制度が認められる事を1ゾーン全体で要望します。

また地区年次大会代議員分科会の運営・財務・PR・IT 分科会では司会担当者として、委員長代行の名誉顧問、元地区ガバナーのL 麻生のもと、5の提出案件を無事時間内に済ませ、全員で記念写真を撮ってもらい楽しい記念すべき1日を終えることが出来ました。大変司会者・ZC として光栄に思われる1日で有り、1年でした。最後になりますが、原ガバナー1年間お疲れさまです。大変ありがとうございました。

4R・3Z・ZC L. 西 智津子



「素晴らしい出会いの事でした。」

ライオンズクラブに入会した日、今までに感じた事のない緊張と誇りを感じた事を忘れません。今日からは誰かの為に役に立つ人である事を念頭に一層日常を充実しよう…私もそんな人間に成長したような思いだったのでしょ。そして今年、ZC を指名戴いた時、その緊張が甦り、不安と共に責任を重く受けとめました。4R の素晴らしい諸先輩から励ましのお言葉を戴きながらの出発でした。

第1回キャビネット会議で、今期キャビネットの歯切

れの良い清々しさ原ガバナーや小金丸幹事の好感度に助けられて明るい一年が始まりました。

続いて、第一回4RのRC、ZC 5人の打ち合せ会は美味しいワインを味わいながら行いました。5人が異口同音にこの一年間は全て5人揃って行動しようと言う事になり、従ってクラブ訪問も全クラブに出席することになりました。

この事で得た経験は、言うまでもなく素晴らしい人との出会いそのものでした。快く5人揃っての訪問を受け入れて下さった各クラブ会長はじめ、会員の皆様のご協力に感謝しています。

ライオンズクラブにはこんなにも沢山の優れた仲間が居て何処にいても気軽に会話ができる幸せは何にも変え難いよろこびです。

原ガバナーの提言「愛」その中でも身近な社員、家族に対する感謝の「愛」そこから生まれる奉仕の心こそ、力強いライオンズ活動の源だと信じています。お互いが認め合い、協力した時にこそ本当に喜ばれるアクティビティが行えると確信します。

クラブ単位、Z単位、R単位…と輪が広がる毎に大きな力になる事を実感します。

貴重な体験をさせていただいたZCも終わろうとしていますが、今後はこの経験を所属クラブに対して生かすことが使命ではないかと思い、ささやかながら後輩の育成、健全なクラブ運営に努力して行くつもりです。

今年出合った素敵な方々をライオンの師として胸に刻みながら…。

心と心 相互理解 思いやり

4R・4Z・ZC L. 平山 政和



各クラブ会員の皆様におかれましては、ライオニズムの高揚に尽力のことと存じます。

今期2008年7月より、4R4Zのゾーンチェアパーソンを拝命してから早いもので10ヶ月が経過いたしました。

L. 藤井勝彦リジョンチェアパーソンのおかげで、私にとりまして大変荷の重い役職をここまで無事に務めることができました。旧6Rから4Rに統合されて、以来すばらしい仲間恵まれ、丸4年になろうとしております。旧6Rは、福岡県内の福岡市以外のクラブで構成され地域も広範囲にわたりそれぞれの特質も違いました。そこでL. 藤井リジョンチェアパーソンの提案で4RのRC、1Z～4ZのZC 5名で4R全25クラブの訪問を計画実行してまいりました。1Z・ZC L. 加治接執氏、2Z・ZC L. 山北雅治氏、3Z・ZC L. 西千智津子氏との出会いもあり、充実した楽しい1年間でした。会議を繰り返し、日々の活動の中でそれぞれの体験を伺いながら、4R歴代のゾー

ンチュアパーソンのご苦勞があったことに思い至ることができました。

「人を大事にする大きな気持ち」4R・RC L. 藤井勝彦氏のもとで4R. 運営ができたことに感謝申し上げます。

国際協会337A地区L原ガバナー氏に出会い、「人類愛・郷土愛・家族愛」ガバナー提言は私の心の中に残り、今も常に教訓としております。L原ガバナーとキャビネット構成できたことに感謝申し上げます。職場でも地域でも大変忙しい1年間でしたが、さまざまなことを学ぶよい機会となりました。

私は、会社の経営理念として「会社とは何か」「お客様に常に満足にあたえていくことで、会社に利益をもたらす。会社とは家族を守る畑である。」と肝に銘じて、日ごろより研鑽を重ねております。ライオンズ活動も同様で、ライオン同志「We Serve」の精神でいこう、自分らしく楽しくライオンズの奉仕活動をできたらと思っています。

私が25年という決して短くない歳月を大過なくすごすことができたのは、ひとえに皆様や先輩ライオンのご鞭撻のおかげと感謝申し上げます。

最後になりましたが、337-A地区国際協会キャビネット・執行部皆様はじめ、L原ガバナーほか各位様、大変お世話になり誠にありがとうございました。皆様の今後の益々のご活躍とご多幸を衷心よりご祈願申し上げます。

5R・3Z・ZC L. 清島 圓爾



日差しが強く感じられる此の頃です。

昨年5リジョン3Z・ZCという大役をいただきまして、早や一年が経過しようと致して居ります。

年度初めの、ゾーン内例会訪問やリジョン内のガバナー公式訪問等の諮問会に同席致しましたが、会員の皆様方は、今年度の運営方針や重点項目について、真剣に、各クラブで検討・討論されていた事に深く感銘している所です。

クラブ健全運営と活性化を推進して行く中で、クラブ例会に出席された会員の方は、豊富な話題と寛容の精神を忘れずにライオン必携を重視しながら会話し居られるのを聞いて、私もっとこの仕事に真剣に取り組まなければならない事を痛感させられた次第です。

又リジョン内周年行事に出席させていただきましたが、各クラブ共夫々に地域の特色を良く表現されて感激を憶えました。

又、第47回東洋・東南アジアフォーラム（香港会場）の開催に関しましては、2008年12月4日から7日まで参加致しましたが、L不老安正が2009年7月の国際大

会へ理事候補者として決定し、会場内は大きな拍手と歓声で盛り上がり、OSEAL フォーラムの楽しい思い出作りと成りました。

平成21年3月21日は、久留米市に於いて、マイクロケラトロン（角膜移植器）贈呈式に出席致しました。私は前年度にこの事の地区委員の一人として担当した経緯もありましたので、その実現には、ガバナーL原吉徳の強い意志同様に大変感動致しました。

最後にガバナー始めキャビネット8名の皆様のチームワークの良さと御指導に深く御礼を申し上げます。まだ40日余り任期を残して居りますが、会員の皆様方にはこの一年間の御協力と私自身にいろいろな経験と感動を与えて頂いた事に衷心より感謝を申し上げまして、御報告に代えさせていただきます。有難うございました。

ZC を拝命して

5R・4Z・ZC L. 浅川 龍憲



当初は1年間という長さに戸惑いを覚えながらも役割の無事な遂行を願いました。ゾーン内クラブの訪問では、久しぶりに聞く「ライオンズ・ヒム」を何か新鮮に思えたり、以前出会いのあったライオンやクラブ会員の顔触れの変わりように、懐かしんでばかりもいられませんでした。時の移ろいに遠のいていた記憶がよみがえり、旧交を温めました。そのほか関係する種々の会議等の出席では、新しい出会いと発見等々多くの体験をさせていただきました。

諮問委員会では、随分と以前、ゾーン・チアマン付き幹事（当時はチアマン、ゾーン内では付き幹事と言っていたと思います。）の役目をおおせつかり、諮問委員会への出席では何回かの質疑の状況を緊張の中で目の当たりにしたことを思い出しました。

どちらかといえばゆったりのわたしですから、クラブの活動や、ゾーン内のあれこれにも気付かず多分に迷惑をかけたのではないかと、また、もっと活発なクラブ交流や活動ができたのではなかったかとの反省しきりです。ことほどさようでRCや、ガバナーへも迷惑をおかけしたと思いますが、皆さんの支援と協力により、関係する会議等にも大過なく参加でき、わたしとしては楽しい思いをたくさんさせていただいたと思っております。いつの間にか最終の役割と整理の時期になってしまいました。

これまでご支援とご協力ご指導をいただきましたライオンにお礼と感謝を申し上げ、残りの期間を次につなげられるように努めたいと思っております。



平成 21 年 4 月 7 日 修伐式にて

左より 多賀谷副幹事、松尾副幹事、小金丸幹事、原ガバナー、竹志田会計、大庭副幹事、佐竹副幹事、宇都宮副幹事

地区 PR・IT・ザラタ編集委員会

編集後記

前委員長よりの引き継ぎも無く、暗中模索の内に始まった職務でした。

ただ、ライオンズの基本である全ての会合に出席すれば何とかなるさ！と考えるだけでした。

今、一年が経過し無事に職務を全うすることが出来ました。これも周りの多くの方達の協力、ご鞭撻のお陰と心より感謝をしているところです。

168 号無事発刊出来ました。第 55 回年次大会をメインに、新旧キャビネット四者対談として原ガバナー、山本ガバナーエレクト、小金丸幹事、古賀次期幹事の方々にご協力を頂き感謝申し上げます。素晴らしい対談だったと思います。

又、今期のキャビネットに於いて最も苦勞された RC、ZC の方々にも、ご協力を頂き有難うございます。各方々のコメントにより、原キャビネットの一年間の実績を顧みることが出来るのではないかと存じます。

168 号の企画、編集はザラタ委員会全員の知恵と汗の結晶であります。

最後に一年間充実した日々を過ごすことができ、原ガバナー始めキャビネットの方々、委員会の方々、嘉穂クラブの方々に感謝を申し上げます。



編集委員長
矢野 誠
(嘉穂 LC)

3 R 委員
白木 弘美
(直方 LC)

5 R 委員
衛藤 嘉幸
(大牟田 LC)

4 R 委員
大無田一郎
(福岡天神 LC)

2 R 委員
徳永修一郎
(福岡大名 LC)

1 R 委員
青柳 正生
(北九州勝山足立 LC)

Lions Clubs International District 337-A JAPAN

THE LIONS TIMES

2009 Vol.168

ザラタ

地区 PR・IT・ザラタ編集委員長 矢野 誠



〈提 言〉

愛

「人類愛・郷土愛・家族愛」



ライオンズクラブ国際協会 337-A地区
キャビネット事務局

〒820-0004

飯塚市新立岩12-37

のがみプレジデントホテル2F

TEL 0948-52-3580 FAX 0948-52-3590

